



特254

141

産業報國運動資料(六)

深川正夫述

産業報國會懇談會の運用

東京地方産業報國聯合會

始



特254
141

本篇は本年三月十九日金鷄會館に於て開催せる本會主催第三回東京地方産業報國運動指導者講習會の席上、本會常任幹事・三井鑛山株式會社勞務課長深川正夫氏がなせる「産業報國會懇談會の運用」に就ての講演速記を同氏の校閲を経て「産業報國運動資料ノ六」として刊行するものである。深川氏は勞働問題に對しては多年の經驗を有たれ、今日の産業報國運動の先驅者的役割を果して居らるることは關係方面の熟知されてゐるところであるが、本篇の内容は産報精神の崇高なる理念を實踐化する上に、如何に運用さるべきかを具體的に且つ實感味を横溢せしめて繰述されてゐる。

本篇が産業報國運動の實踐強化に示唆する所尠からざるを信じ、産業報國會運営の衝に當る諸彦の熟讀を御奨めする。

尙本會は近く常任幹事會の編輯に成る「工場懇談會運営指針」(假稱)を「産業報國運動資料ノ七」として刊行する豫定に付併讀を切望する。

昭和十五年九月

東京地方産業報國聯合會

目次

一 緒言	一	四 働く者の意見を尊重	二六
二 懇談會運用に對する態度	二	五 選挙による代表者選出方法	二七
三 堅忍持久精神と待遇問題	三	六 徹底した普通選挙で選任	三三
四 産業報國會運用上の信條	五	七 懇談會開催に就ての心構へ	三三
五 過去の勞資協調機關の役割	七	八 平安清明裡に會議を進行	三六
六 勞働運動勃興期の苦心	九	九 人情の機微を把むことが肝要	三六
七 國情に沿ふ事業一家の理想	二二	十 懇談會を通じ教養を高む	四一
八 寄合評定の歴史的考察	二四	十一 教化事業の完備と人格の育成	四五
九 聖德太子十七條憲法の御精神	二六	十二 大乘的見地に立ち懇談會指導	四七
十 家族一體となり生産に参加	二八	十三 體験を通じて見た勞務者指導	五二
十一 懇談會委員の選出方法	二九	十四 結語	五五
十二 懇談會の下協議會の構成	三二	附、懇談會運用に就て(質疑應答)	五九
十三 總代會による議事の運用	三三		

産業報國會懇談會の運用

深川正夫

一 緒言

私は皆様方に對しましてお話を申上げるといふやうな者では實はないのでございまして、此處に上りましてお話を申上げるといふことは、相當躊躇致したのでございしますが、只私は長い間この産業報國會運動の前身とも申します、共愛組合と云ふのをやつて居りました。その經驗から致しまして、體験を一つ話すやうにといふお話でございましたから何んぞ私の經驗致しましたことを申上げまして、何か若し御参考になるやうなことでもありませんれば、大變仕合せだと考へて參上致したやうな次第でございします。

私は大正二年に東大の經濟科を出しまして、直ぐに三井鑛山に入社致し九州の三池炭坑の坑内に一年間入りまして石炭を掘り、又支柱をなし、運搬にも從事致しまして坑夫諸君と一緒に働いて來たのでございします。それから坑外に出ましてずつと勞務擔當者と致しまして、あの地下に働きます人の世話を致して來たのでございします。それからずつと現在に至る迄それが私の仕事でございまして、今日も猶主と致しまして坑内に働きます石炭坑夫といふものゝ世話を致して居るやうな譯合でございします。其の私の働いて居りました間に於きまして、大正九年から共愛組合と云ふもの

を作りました、精神から申ししても、形から申ししても、現在の産業報國會と何等變りがないのでございますが、すつとその擔當者と致しまして、いろ／＼とこれの經營に就きましては相當難儀も致したといふやうな譯合でございます、それらのことに就きしてお話を申上げて見たいと云ふ風に考へて居るのでございます。

二 懇談會運用に對する態度

實は皆様方の處に於かれまして、只今に於きましては賃金はストップをされて居りますし、それに物價は非常に騰ると云ふやうな現況でございますから、相當皆様のお仕事に於かれまして問題が積つて居るのであらうとお察し致すのでございます。實は私の方と致しまして、其の問題が現在産業報國會の懇談會に次から次と出て参りまして、相當緊張した場面を呈して居るやうな有様でございます。これらの問題に對しましては何と致しまして、餘程慎重な態度を執つてこれに臨むと云ふことを致しませんければ、一步誤れば問題がやかましくなるといふやうな處に來て居るやうに思ふのであります。

それに就きまして、此の産業報國會殊に懇談會の運營といふことは眞に重大でありまして、そのやりやうの如何といふことがこの私共の工場、鑛山を圓滿に仕事を進めて行く事が出来るや否やといふ岐れ目になるのではないかと考へる譯でございます。新聞などを見ますと、いろ／＼と方々に於きまして、又特殊な事情もございまして、相當問題が起つて居るやうにお見受け致すのであります。私の方に於きましては此の問題に就きましては、相當労働者の代表から眞剣な問題が出て居ります。其處の擔當の工場長又は鑛山長と云ふ人達がそれらの問題に就きまして眞剣な討議を致して居りまして、ある工場の如きは工場長と労働者から出ました代表者達が、午後の一時から八時迄毎日

毎日三日間も引續きまして眞剣な討議をやつて居ります。

今度私は九州からすつと山口縣下を廻つて來たのでございますが、其處の工場長に會ひまして實際の模様を聞いて見ますと非常な眞剣さでありまして、この問題をどうして打開するかといふことに就ては、非常な關心を持つて居るやうな方面から研究を進めて居るといふ實情でございます。私の方と致しましては、だん／＼後にも申し上げたいと思ひますが、其の議事録を取りましてそれを本店に總て送つて居ります。直轄の會社も傍系會社も此の産業報國會をも全部組織して居りますので、その懇談會の議事録を取りまして、それを本店に送つて來る譯でございます。それを一々私の方で仔細に點檢致しまして、肝要な所は總て又それから抜書を致します。さうして又議事録にアンダーラインを附しまして、重役、會長に送る譯でございます。さうしてそれに對します対策を講ずる。本店に於て講ずるものは本店から指令を出し、現場に於てそれに對する対策を講ずるものは現場で対策を講ずる。斯う云ふ風に致して居るのでございますが、最近では其の議事録を見ますと、現在の矢張り苦しい模様^が深刻に擧げられて居ります。餘程慎重を要する時期になつて來たといふことは間違ひないと思ふのでございます。

三 堅忍持久精神と待遇問題

私は今回廻りまして、それらの幹部にも、労働者の幹部にも會ひましたし、又殊に従業員の主立つた者を集めましてそれに向つて今日の時局の重大なこと、或は九・一八と物價の問題、或は總動員法が出来てからの總ての模様なり、殊にこれに關するいろ／＼な雇入制限令とか、或は職業能力申告令とか或は學校卒業者使用制限令とか、或は會社の利益配當の制限令等、あゝ云つたやうな法令に就きまして極く其の大體をそれらの人に話して、さうして今日は既に

自由經濟から統制經濟に變りつゝあるのだ、それを何時迄も吾々が自由經濟の頭を以て物を批判して行つたのでは、なか／＼不平不満がそれから出て来るであらう、何としても今度の事變といふものはまだ／＼十年や二十年は續くと考へてゐなければ、どうしてもこれは片附くまいと思ふ。それで諸君も賃金は釘付けされて居るし、それに物價は騰貴する、其處のチレンマに諸君も非常に難儀して居られるといふことは充分判つて居る。實際の處、私の方では臨時手當と云ふのを出して居りますが、其の臨時手當をあつたストツプ令がなければもう一割位宛二度位は上げて居るだらうと思ひます。それが上げずに來て居る譯でございしますが、實際又法律の手前なか／＼上げてやると云ふことも出來ない状態にあるのであります。

併しながらそれは出來ないからといつて、その法律を楯に吾々が物價が如何に騰つてもしやうがないではないかといふやうに投げて居る氣持は毛頭ないのである。何とかしなければならぬと思つて、勞働局あたりにも始終參つて色と具申をするのであるけれども、又御話を聽くといふと、一割、二割上げてそれでいゝといふものならばいゝけれども、決してそれではすむまい。三割も四割も上げなければならぬと云ふやうな情勢になつて來るであらう。さうすれば矢張り惡性インフレーションになると云ふことである。無理もないことで、今日の聖戰目的遂行の最中に、さういふ惡性インフレになり、物價が騰ると賃金が上り、賃金が上ると物價が騰る、シーソー・ゲームで天井知らずに賃金が上るといふことになつた日には、どうしても吾々お互の臺所生活といふものはもう根本から破壊されるであらう。従つて又國家もその經濟の根本から壞れて、迎も聖戰の目的遂行どころの騒ぎではなくなるであらうと思はれる。さういふお話を承るといふと、又其處に吾々も大いに考へなければならぬ點があると思ひます。

私は恰度前歐洲大戰の時に發行されたものでどんな値打がある紙幣か知りませんが、例の獨逸の惡性インフレーションの時の紙幣を實は持つて居りまして、これは十萬マルクの紙幣でございしますが、是は即ち、獨逸の物價が騰つた時の紙幣でございします。斯ういふ紙幣を見ましても、斯ういふやうに物價が天井知らずに騰つて、吾々の米一升十圓なり、諸君の着て居る勞働服一着百圓なり、斯ういふ風に高くなつたらばお互がどうであらうか、何も彼もいないはないか、その邊は諸君も充分に一つ考へて貰ひたい。諸君が苦しいといふことは、吾々にも充分によく判つて居る。諸君の意嚮は議事録にちやんと現はれて居る、諸君の代表者が眞剣に討議して居るといふことは充分に吾々には判つて居る。併ながら今日の時勢上容易になか／＼それをどうかするといふ對策に就て簡單に講ずる譯にいかないといふやうなことに就きまして、或る時は五六百人、或る時は千人、一番多い時は二千人、合計一萬何千人に對しまして今度も話をして參つたのでございしますが、まあさういふやうな話を致します時には實に皆緊張して聽いて居ります。目を皿のやうに致しまして何を一體言ふのだらうかといふやうな態度で非常な熱心さで聽いてくれるのでありますが、矢張り話を致しますと其處に或る程度の諒解を得るといふことは恐らく出來ると思ふのでございします。

四 産業報國會運用上の信條

それは極く最近、恰度私が四五日前に歸つて參つたのでありますが、さういふやうなことをやりますに就きまして、私共の事業を經營して行きます上からはどう致しまして多くの働く人に總ての點から理解を求めます。斯ういふことなしには到底本當に事業を安泰に經營して行くといふことは困難であらう、斯ういふ風に私は考へるのであります。これはもうごなたでも御承知下さる點でありますけれども、或は事業の經營に參加するといふやうな言葉などから致しまして、さういふ風に事業の經營上のこと迄、いろ／＼と向ふに相談するといふことは經營參加といふ事にな

るではないか、さういふことは此の事業の経営上、即ち吾々の事業を經營するといふことは餘程其處に自由の立場があつて初めて充分經營が出来るのであるのに、いろ／＼なことを労働者に打掛けて相談するといふやうなことは其の經營の邪魔になるではなからうかといふやうなことから致しまして、あまり打掛けて相談するといふことは餘程考へものだ。それは又、それ／＼の工場、鑛山に於きまして事情も違ひ、歴史も違ふ點がございますから一概には無論申すことは出来なからうと思ふのでありますが、何と致しましてもさう云つたやうな經營參加といふやうな言葉などから致しまして、あまりに立入つたやうなことは相談はしない方がよいといふやうなことがあつたやうに思ふのでございます。

併ながら左様な行き方でありましては、矢張り結局は事業經營が困難に陥つて行くのではなからうか、どう云ふ風に考へて見ましても矢張り働く人と力を合せて、始めて事業が成立つて行く譯でございます。これらの人々が事業經營の片一方を擔いで居る。斯ういふ譯でありますから、其の片一方を擔いで居る人がいろ／＼と足腰に故障が起つたり、或は心の上に疲勞を起しまして能く歩かないといふやうなことになるつて参りますれば、どうしても物を運ぶことが出来ない。斯ういふことに實際なつて参りますので、何と致しまして矢張り相當な處迄よく打掛けて相談をして行くといふことは、事業經營の上からはこれはどうしても、さうせねばならぬものではないかと考へる次第でございます。

私は現在の産業報國會懇談會、私の方で申しますと、元共愛組合と言つて居りましたのでございますが、今では産業報國會と變へましてございます。その運営に當りまして第一私の信條と致しましたことは、決して二枚舌を使はない。苦しい場合であらうと、又樂な場合であらうと、總てのことをさつ／＼ばらんに打掛けて相談をする。斯う

いふことを信條と致しまして、あの人達に對して決して懸引をやらない、二枚舌を使はないといふ信念の下に、二十年になりましたが、この内の二十五年間、恰度大正九年から申しますと二十年間といふものを、この報國會の經營に當つて居る譯でございます。初めの程は此の多くの働く人が矢張りいろ／＼と今迄のやり來りから致しまして、疑ひを持つて聞くといふやうなこともございましたが、だん／＼と度重なり、月日が積つて行きますにつれて非常によく信じてくれるやうになりました。先づ嘘は言はぬやうだ、あの人は懸引はないやうだ、吾々に對しては眞のことを言ふてくれるといふ程度に迄はだん／＼となつて参りました。それらのことがいろ／＼な、或は不景氣に際會した場合とか、其の場合に相當役に立ちまして、難局を打開し得たといふやうないろ／＼な實例を持つて居る譯でございます。それに就きましてはこれからだん／＼と申上げたいと考へます。

五 過去の勞資協調機關の役割

私は其處に差上げて置きましたやうに、大體今の共愛組合といふ所謂工場委員制度が發達して來たといふことに就きまして簡單に申上げて見たいと思ふのでありますが、今日皆様の御承知下さいますやうに日本全國に何千と云ふ報國會が出来まして、さうして會員も何百萬と云ふものが出來た、斯ういふことになつて居る。それは實に喜ばしいことになつて居るのでありますが、これは先刻から申上げて居りますやうに、急に出來た譯ではございませんで、方々の大きな工場、鑛山、又大きくない所にも其の例があると思ひますが、工場委員制度と云ふものが既に出來て居りまして、いろ／＼と名前は、或は親和會とか、一心會とか、私の方の共愛組合とか、名前はいろ／＼と各所で違ひますが、相當に此の組織が前から出來て居りまして、これらのものが相當に今迄の此の工場、鑛山の經營に役に立

つて来た譯であります。先刻から申上げますやうに、私の方では大正九年に實は共愛組合と云ふものを作つて、さうして勞資双方から相談役が出まして、協議をするといふことをすつと致して来て居ります。十三年に組織を多少改善致しまして、もつと徹底的にあの人達が自分達だけで議論が充分に出来るやうな組織に致したのでございますが、それ以來今迄の工場委員制といふものに於きましても矢張り相當にいろ／＼な問題を解決して来た譯であります。

恰度私の居りました大牟田は九州の中央でございます。北の方に八幡製鐵所といふ所がございます。其處には御承知のやうに元から勞働組合が発達致しまして、それを根幹と致しました處の懇談會といふのが行はれて居りました。其處のその懇談會に依つて成し遂げられました問題と、私の方の共愛組合に依りまして成し遂げられた問題とを私は比較して働く人によく見せたことでもあります。と申しますのは、向ふの製鐵所に於きましては、勞働組合と云ふものがその基調となつて居りますので、さういふ勞働組合と云ふものに依らなければ、勞働者の幸福を増進することが出来ないといふやうな考へ方が、随分これらの指導者、プロカーに依りまして宣傳されて居りましたので、私はさうではないのである、矢張り吾々のやうな此の行き方、勞資が協力して行かうといふやうな行き方に於ても殆ど變りないやうな實績を擧げて行くことが出来る。而も勞働組合を基調する場合に於きましては所謂階級闘争といふ考への上に事が運ばれるので、謂はゞ闘ひ取るといふやうな氣持に依つて、事が運ばれるのではないか、然るに吾々の方に於ては相互扶助と云ふ觀念を基にし、相協力して行かうといふやうな考への下に談笑裡に事が運ばれるといふことは、眞に此の事が同じ運ぶのだとしても非常に氣持のよい運び方ではないか。さうして私はこれを彼等の問題も私の方の問題も賃金に関するもの、或は其の他の勞働條件に関するもの、時間に関するもの等、いろ／＼に分けてまして其の成績を皆に示した事でありました。

私の方では三池共愛組合事業概要といふ年報を發行し、これに毎年一年中の事業を集めまして、さうしてこれを配るやうに致して居りますが、例へば總數何件の内何件通つたといふやうなこと、何件が承認されて、何件程が不承認になつたといふのを表を作りまして、さうして是に出してございます。實は提出されました問題は相當通るのでございます。一寸簡單に申しますと、これは少し前のもので、昭和十二年度でありまして、これは少し古いのでございますが、それに依りまして問題の合計が一年間に四百五十七件でございます。その内の二百六十九件、五十九パーセントといふのが承認されて居ります。それから六十五件が不承認で十四パーセントに當る。修正承認されたのが三十七件、八パーセントでありまして、留保したのが二十件の五パーセント、撤回されたものが十件の二・五パーセント、研究しやうといふことになりましたのが五十六件の十二パーセント、斯ういふやうな割合になつて居ります。其の内賃金、賞與、歩増、手当といふやうなものに關するものが五十九件でございます。作業施設に關するものが五十八件、福利施設に關するものが九十二件、醫院、健康保險に關するものが三十二件、購買、金融機關に關するものが四十六件、共愛組合自體に關するものが百一件、其他の諸取扱に關する件が六十九件、斯ういふ風になつて居りました。賃金、歩増、手当といふやうな賃金所得に關する問題も相當多いのでございますが、斯ういふ風に分けまして、私の方の問題と向ふの問題を對照して表に刷り、皆の者に頒ちまして理解して貰ふといふことを致した事があります。

六 勞働運動勃興期の苦心

それは何故かと申しますと、よく私達のやつて居ります今迄の工場委員制の制度は御用組合、會社組合、斯ういふ

風に言はれまして、あれは本當の仕事をやりきらないのだ、何とかか何とか云つても最後には会社の方から抑へられてしまつて到底仕事は出来ないのである。だから駄目だ。斯ういふことを何時も言はれたのですが、さうではないのである、吾々の組合の仕事としても決して負けるのではない。尤も其の間にいろ／＼な問題がありまして、例へば私共の共愛組合で床屋をやらうといふことを始めました時には、八幡の労働組合には許可されて居りますが私の方の此の委員制であります共愛組合でやらうと致しました時には、許可にならなかつたといふやうなこともございまして、もう向ふでは安い代金で切つてやるといふことをやつて居るのでありますが、私の方では市中と同じ値段ならいゝといふことになりまして、市中と同じ値段であれば別に急いでやらなければならぬといふことはない譯でございますので、さういふ風なことで委員制の方は許さない、労働組合でやれば許されるといふやうなことはあつたけれども、その他の大抵の問題と致しましては何等向ふに比べまして劣るものではないといふ成績を得まして、それを皆にも徹底させて、この工場委員制といふ、所謂私の方の共愛組合と云ふものが、相當働いて居るといふことを理解させる。さうしてこれを支持するやうに仕向けたといふやうなことも度々やつた譯でございます。

と申しますのは皆様も御経験あらせられると思ひますが、大正七八年頃に、非常に階級闘争の思想が全國を席卷致しまして、私共の居つたあの田舎の方の大牟田といつたやうな隅々迄もその思想が普及して参りました。殊に當時の友愛會の一方の大將でありました〇〇氏などが始終見えまして、非常に階級闘争の思想を煽つた譯でございます。それは劇場などで講演會がありますと何時も満員でありまして、其の中に〇〇氏などが起ちまして非常に階級闘争の思想を宣傳するのであります。何時もその人達が言ひますことは私は今も忘れることが出来ないものであります。満堂の聴衆に對しまして〇〇氏が或る時に言つたのであります。「皆さんは南洋に食人種の居ることを知つて居りますか、此の食人

種と云ふものは平素互に喧嘩をやる、さうして他の部落を襲つて何人かの土人を連れて歸つて来る、さうしますといふと、それを握まへて、さうして最初それに刀を突刺して血を流すのだ、それを井に受けて皆で飲み廻すのだ、それから血の出た、出しがらになつた身體は、焚火をして炙つて焼肉として皆で食べるんだ。さうして一晩中焚火の周りを口を眞赤に血潮で染めて、青鬼、赤鬼のやうな形相になつて踊り廻るのである。所で皆さんは自分が斯ういふ話をする、それは遠い南洋の話であると考へられるであらう。處が恰度皆さんの前に食人種のやうな赤鬼、青鬼が居つて、皆さんの血を搾り、肉を食つて居るといふことは皆さんは氣が附きませぬか。現に皆さんを使つて居る事業主がそれなんだ。事業主に使はれて居る澤山の役員は赤鬼、青鬼の羅卒に當る連中だ。それが寄つてたかつて皆さんの血肉を搾つて居る。諸君はこれらの者に搾取されて、肉は瘦せ骨はだん／＼と細つて来るといふ有様ではないか、それを氣附かないのか」と壇上から喝破致しまして、さうして「これに對抗するためには、どうしても組合を作らなければ、諸君一人々々の力では到底對抗出来ないのだ、皆團結して當る外ない」とさうして相手を打倒しなければならぬ。此鬼共を叩き殺さなければならぬといふことを力説致しますといふと、其の熱辯に打たれまして、満場の聴衆は酔へるがやうに拍手喝采を致すのでございます。

斯ういふのを見ましたが實に凄惨な光景でありまして、斯ういふことが續いて行つたならば到底事業の經營は出来ない、もう吾々の事業にも斯ういふやうな惨劇が次から次へ繰り展げられるであらうと思ひましたので、其の時に私としては深く考へたのであります。即ち階級闘争に依らなければ労働者の幸福を増進する事は出来ないであらうかといふことを、幾晩も／＼眠らない位に考へたのであります。結局はさうではない。何としても争闘の氣分のある時に於ては事業も榮えない。これは私共の一家に就て考へて見ても同様である。私は此のことに就きましては特に労働者には例を擧げまして何時も説明したのであります。人間道は即ち協力道であるといふことを卑近な例を設け

まして逃べることに何時も力を注いで居ります。

七 國情に沿ふ事業一家の理想

今回廻りましてこのことに就ては特に矢張り繰返し／＼述べまして、どうしても階級闘争と云つたやうな争ひの氣持ではいけない。それでは吾々の一家の内でも、例へば夫婦が争ふ、親子の氣持が合はない、罵詈雑言の聲が朝から晩迄響くやうな家庭であつたならば榮えないではないか、矢張り父と母とが氣持が合ふ、兩親と子供とがしつくり行く、笑聲が聞えると云つた家庭がだん／＼と榮えて行くではないか。町村にしてもさうである。あの私の今迄居りました大牟田の隣が熊本縣でございまして、今ではさうではありませんが、昔は随分政争が激甚でありました。政治の争ひにしても村々が徹底的に争ふといふことになれば榮えないではないか。況んや吾々のやる事業の如きに於ては互事業に従つて居る者が恨み、嫉み、誘ふ、斯ういつた氣持になつてしつくりいかないといふことになれば、まだ根柢の浅い吾々の事業などが覆へることは實に火を賭るよりも勝つてしまふ。それに就て諸君も考へて行かなければならぬ。私は勞働者諸君を集めて何時も言ふのでございしますが、日本は年々人口が百萬も増加して行くのに、米は六千萬石位しか出來ないのだ、だから千萬石位は輸入しなければならぬ。米は足らない、人間は百萬人も殖える、さういふやうな時に皆の人が生きて行く爲には、即ち皆の人に仕事を與へる爲にはどうしても産業が榮えなくてはならぬ、日本が立ち行く爲には是非とも産業が興隆せねばならぬと力説するのでありますが、どうしても國情をしつかり呑込ませるといふことは實に大切なことだと考へるのでございします。産業經營の上に於て、吾々が階級闘争をやつて居つた日には産業は潰れてしまひ職場はなくなる、お互は何處で仕事をするかといふことを諸君も考へて欲しいと言つたやうなこ

とを、何時もあの働く人達を集めまして、而も其の幹部、而もその中でも懇談會の委員になるやうな人には是非とも國情を徹底的に教育するといふことが必要だと考へます。

輕舉妄動をやらぬといふことは本は充分に國情を知るといふことが是非必要だと考へますので、私は特に此の人口増加の問題、それから食糧の問題、外國との關係、ロシアがある、アメリカがある、英國が控へて居る、老支那を控へて居る。此の中に立つた日本の國情といふものは實に困難なる立場にあるのだと云ふことを、何時も私の知る限りの知識に於きましては、材料を整へて皆に解らせやうといふことを努めて來ましたのでありますが、殊に階級闘争といふことでは、矢張りどうしても榮えぬ。争ひのある所に暗黒があり、滅亡があるだけである。協力即ちお互に力を協せる處に繁榮があり、興隆がある。斯ういふやうなことを、何時もこれらの人に話すことに今迄力を注いで來ました譯でありますが、さういふやうなことも、私共が共愛組合と云ふものを作ります時のその恰度前でありましたが、さういふ風な階級意識が熾んになつて來るのではないといふので、矢張り今申しましたやうに、協力道で行かうといふので共愛組合といふものを作つた譯でございました。どうしてこれが起つて來ましたかの源を糺して見ますれば斯ういふ制度なしには産業の經營が出來なかつた、だん／＼と危険になつて來たといふことが前提でございします。即ち其の當時の事情から申しますれば、さう必要のない時にそれが作られたと云ふ譯でございしませんで、實際の狀況がもう迫つて參りまして、さういふ組織を作らなければ産業を平和にやつて行くことは出來ない。彼様な事情が迫つて居つた譯であります。

このことはさういふやうなそれならば、階級闘争に對する方策として必要があるから作つたのか、斯う一概にお尋ね下さるならば又困るのであります、私の考へから申しますとさういふ方法、私はこの産業報國會の懇談會と云

ふのは、理解させます處の一つの方法であると私は考へて居るのでありますが、凡ゆる方法を盡して相互の理解を圖るといふことがなければ到底事業は平和の裡に發展せしめるといふことは困難である。斯ういふことをどうしても考へますので、結局は斯ういふ組織は、さういふやうな階級意識を煽る人がなくても是は作らなければならなかつたものであるといふことは、結局仕事をしますためには理解をさせなければならぬ。能率を擧げるにしましても、災害を防止するにしましても、何をやるにしましても、お互の理解といふものがなければ仕事を進めて行くことは出来な

い。斯ういふことに行き當りますので、當然出来なければならぬものであるといふことを考へるのでありますが、當初の事情を申しますといふと、さう言ふ氣配がございまして、私共はこの階級闘争の思想に對してどうしてこれをよく防ぎ得るかといふことに就きまして、當時非常に胸を痛めた問題でございまして、同志と共に幾日も、幾夜も此の問題に就ては随分議論を致し、又その問題に突當りまして、その解決に頭を悩ました問題でございまして。

八 寄合評定の歴史的考察

此の問題の要綱から話が外れがちですが、さういふ風な事情もだん／＼と手傳ひまして、その工場委員制度が出来て参りました。それが大體に先刻から表でも申上げましたやうに、だん／＼と役に立つて参りまして、私共と致しましては、非常によい制度が出来たといふやうに考へ、これが盛り立てには努力をして來ましたやうな次第でございまして。そこで此の産業報國會のこと、殊に懇談會の組織といふやうなことに就きまして、これから私の方で實際やりましたものに就いて、お話を申上げて見たいと考へるのでございまして。

此の産業報國會の重要な機關であります處の懇談會、これはこの懇談會がよく行かないといふことになつたれば折角の産業報國會もつまり一番大切な處が駄目になりますので、矢張りこの懇談會を如何に活かして行くかといふことが、實際から申しますと、産業報國會がこれから榮えて行くといふことになる譯だと考へるのであります。どうしてもこの懇談會と云ふものを、それが本當に効能を發揮するやうに仕向けて行かねばならぬといふ處に産業報國會の一番大切な點があると思ふのであります。それならば、この懇談會といふやうなことに就きまして、歴史的にどういふやうな根據があるのであらうかといふことを考へて見たいと思ふのであります。それは何故かと申しますれば、よく私共が寡聞の致す所かも知りませんが、例へば代表者などを出して協議をするといふやうなことは大體日本本來の方法ではない。これは西洋流のやり方なりといふやうなことを人から聞いたたり又私も考へたことがござい

が、然しだん／＼と先覺の士から教を受け、又それらの御方がお書きになつた本などを見ますと、決してさうではありませんで、矢張り懇談をして行く、代表者が出て物事の重要なことに就て特に懇談を進める。彼様なやり方は吾々の祖先が、この島にどちらから見えましたか判りませんが、御出になる前から餘程の昔からあつた所の方法である、斯ういふことを見聞するのであります。いろ／＼とこの傳説などに現はれた上から申しましても、さういふことがあ

るやうに思ひますが、この寄合評定すると云ふ精神は吾々の民族が餘程昔から持つて居つたのであります。

原因は或る先生の説に依れば、狩獵からさういふやうな習慣が出て來て居る。卷狩をやる、大きな原野で澤山の動物を獲つて食べるといふためにはどうしても、さういふやうな話合をして決めてやらねば出来な、斯ういつたやうなことから、だん／＼出來たんだといふやうな説明をして居られる方もあります。いろ／＼とそのことに就きましては先生方の説の較るゝ所もあるやうであります。どう致しても吾々の祖先が相當古い時から、そのやうなことは部

落長或は種族の長、斯ういふ者を集めて事を進めたといふことは、相當古い歴史の上に立證される所であると承るの
であります。

九 聖德太子十七條憲法の御精神

皆様方の前で斯ういふことを申上げるのは甚だ僭越と思ひますが、一番、私はこのことを具體的によく云ひ願はし
て載いて居るのは、矢張り 聖德太子の十七條憲法の第一條の後段であらうと思ひますので、何時もあの條章を讀ま
せて載いて居るのであります。皆様方の前でこれを讀ませて戴く必要もなからうと思ひますけれども、この十七條憲法
の二に、「和を以て貴と爲す、忤ふことなきを宗とせよ。人皆黨あり、亦違れる者少し、是を以て或は君父に順はず、乍ち隣里に
違ふ。然るに上和らぎ下睦びて事を論ふに諧へば、則ち事理自ら通ず。何事か成らざらむ。」此の「上和らぎ下睦びて事を論ふに
諧へば、則ち事理自ら通ず、何事か成らざらむ。」と仰せられてあるのであります。私はこの條章も今度九州に持つて行き
まして、その部屋に集まりました何百人といふ、所謂工場幹部にこれを讀み聴かせまして、「上和らぎ下睦びて」と
いふ處から以下は、特に力を入れて皆に相談を致した譯であります。斯う云ふやうな、小さい所を具體的に
太子が千三百年の昔吾々にお示し下さつたといふ事は詢に有難いことであると、この 聖德太子の御功績に對しまし
てはどういふ御褒めの言葉を以ても、盡せないやうな氣持が致します。眞に御示の通りであるやうに考へます。斯く
も具體的に産業報國會、殊に懇談會の本分、思想をよく示されたものと不思議に思はれる位に私は考へる次第でこ
ざいます。といふのは御察し申すに 太子の御一生は當時閥族と閥族との争ひを目のあたりに御覽遊ばされ、懼多く
も 御皇室もこの爲御煩を御受けになられた様に拜承して居ります。さう云つたやうなあまりに悲惨な争鬪を御覽に

なられましたことが、この憲法を御書きになる場合に、御體驗を通じましてこの御言葉が出たものと拜します。

私共も幾度も争議にも遇ひ、又階級争の說にも遇ひ、而もそれに依つて起された争議にも私は十數週遇つた體驗
を持つものであります。さういふことに觸れて見ますといふと、この御言葉が如何に尊嚴なものであるか、今日私
共がこれを讀みましても猶私共の肺腑を刺すものがあるやうに考へます。それは矢張り 太子が活きた御體驗を持た
れまして、その中から心血を注いで御書きになつたものであるから、今日も吾々に深い印象を與へるのではないかと
考へるのでございます。私はこの言葉がありますれば、根本思想と致しましては殆ど外には必要はない位に考へま
す。矢張り例へば上と云ふ所に工場長或は所長、下と云ふ所に職工或は従業員、斯ういふ字を當嵌めて見ますとびつ
たりと來るのであります。矢張り工場長と云ふ上の方が和らぎまして、さうして下の方の職工が睦ぶ、さうしてお
互に事を懇談熟議の上に於て運んで行けば何でも解るのではないか。斯ういふやうなやり方で行けば總ては成功する
であらう。斯ういふ教を賜つて居るのであります。實に今日私共の實際にやる上に當嵌つて居ります。

恰度今度参りました彦島にある製鍊所では、場長以下全部が集りまして三日間協議をやつて居ります。實は物價と
賃金ストツプをどういふ風に片附けるかといふこと、最後には臺所の問題、結局は生活刷新の問題迄來て居りますが、
さう云つたことは矢張りこの條章の通りであります。結局上下の懇談を續けて行くといふことになりますれば矢張
り困難打開に就きましてもいる／＼な研究が出来る、斯ういふ風に思はれるのであります。これが斯ういふ風に行つ
てゐないといふと、直ぐに一方は賃金を増してくれ、賞與を増してくれ、斯ういふ問題ばかりになりがちだと考へま
す。勿論さういふ方面もこの時局に際會致しまして、さうして賃金増加を願出てもいゝといふことになれば願出で取
得を増してやるやうにしなければならぬが、それだけでは解決がつかないので、どうしても臺所の問題、即ち、どう

してもお内儀さん達の、墓所のやりやうの問題に迄落ちて来なければ本當ではない、斯ういふやうに考へるのであります。

十 家族一體となり生産に参加

私はこのことに就きまして何時も申して居るのでありますが、男の従業員に話しただけでは五十パーセントである。私は考へて居ります。總ての問題、能率増進でありませうと、或は災害防止でありませうと、總ての問題が男の従業員に話しただけではまだ事柄の五十パーセントである。これを女房達に理解せよと、次に次の三十パーセントが出て来る。次に子供や老人に話しまして二十パーセント、これだけに徹底せよと申して初めて百パーセントになるのではない。これは坑内の災害防止と云つたやうなことで、私はさうだと深く考へて居ります。あの人達がよく怪我をします場合に、其の家庭のいろ／＼な不満とか、いろ／＼な家庭の事情があるといふことが、怪我の原因になるのがよくございまして、殊に朝仕事の出がけに際しまして夫婦諍をして出て来るとか、或は家族を怒り散らして出て来る、斯ういふことがあります。えてして仕事場に行きましてから怪我をするといふことが非常に多いのであります。

私がある時葬式に列しました處が、其の内儀が泣き叫ぶ程が違つて居ります。「實に濟まなかつた、濟まなかつた」と言つて亭主の死骸に抱きつきまして詫びを致して居りましたから、これは何かあつたなと思つて後から係の者に探らせて見ますと、朝寝坊致しまして飯を焚き損つたのであります。そこで主人は飯も食はず、辨當も持たんで行つて居ります。それでありませうから坑内で石炭を掘つて居ると腹も減り、女房の仕打も氣に喰はんと云つた有様で、結局岩が落ちて来るのが判らずに死んだといふやうなことであります。いろ／＼な家庭の不平不満、世帯のやりやうの悪

さ、借金の問題、或は仕事着をよく洗濯してやらない、鉤をよく附けて置かないとか、綻を繕つて置かないとか、時には坑内ではマツチなどは持つて行つてはならないのであります。さういふことを女房が見附けまして出かけて注意を與へる、或はシャツなんかよく洗濯してキチンとした服装で仕事場に送り出してくれる、さうすると怪我は少なくて能率が擧るのであります。これに反對の場合はいろ／＼な問題を起すのであります。能率増進、災害防止といふことをいふに致しても、従業員だけでは矢張り不足だと考へます。

どうしても女房、子供迄及びまして初めて完全になつて来る。さういふことから考へますと、どうしても住宅を作らねばならぬといふ問題が出て来るのであります。廣い所の部落々々に散らばつて居りますのでは、なか／＼部落會をやりましても、私の方で致しましては部落會なども徹底的にやつて居る所もございませう、それにしても一年に一回しか廻りきれない。廣い部落では部落會を餘計やることが出来ませうから、結局住宅問題といふものがさういふ處からも出て来ると考へます。最近では労働者を募集しやうといふことになつて居りますが、勤続を長くしやうといふ計畫から住宅が必要になつて参りましたけれども、教化の徹底といつた様な事からも必然に住宅問題に行當るといふ風に考へます。

十一 懇談會委員の選出方法

又話が外れましたけれども、要するに上下和睦、斯ういふことがよく出来るといふことにならなければ懇談會がよく行きませんし、その懇談會の根本の考へ方は、聖徳太子の御言葉で充分ではないかと考へるのであります。さう云ふ風に考へて見れば、私共の今やつて居ります處の産業報國會、或は懇談會、斯ういふものゝ根本思想といふものは

日本精神の深い處にあるのだといふことが、私ははつきり判ると考へるのであります。私共が斯ういふやうなことをやるといふことは、決して西洋の眞似をやつて居るのではない。勿論西洋のいふ所を眞似まして、日本も矢張り今日の産業は盛んになつたのでありますから、眞似をするといふことを、何も悪く言ふ譯ではありませんけれども、これは眞似ではありませんで、實際に舊から日本にあつたのであるといふことをはつきりと考へます場合に、これらの仕事をやつて行く上に非常に皆の共鳴のしやうが違ふと思ふのであります。

私はこの懇談會或は産業報國會といふものゝ根本精神は斯ういふやうな日本精神の深い處にあるのだ、もう吾々の祖先からして此の方法に依つて充分にやつて来たのだといふことを、何時も働く人に解らせることに努力致して来て居ります。非常に多くの働きます人にこの憲法の十七條を述べて、さうして皆に申しますといふと、よく興味を持つてさういふ風に、この吾々のやつて居る懇談會といふものゝ土臺は大切な處にあるものかといふことをよく諒解してくれるのであります。斯ういふことは實に大衆を率ひて行きさす上から申しますれば重大なことだと考へるのであります。事は僅な點にあるやうでありますけれども、結果は眞に重大でございまして、さういふ風に吾々の祖先傳來の方法であるか、それならばこれに依つてやらなければならぬといふ風に考へてくれると思ふのであります。さういふ處から考へましても、私共の今日やつて居ることが如何に意義が重大であるかといふことを考へさせられる譯であります。

そこでこの懇談會の組織に移りたいと思ふのでありますが、委員の選出方法が皆様の處に於かれましても相當いろいろの問題を起して居る。どういふ方法に依つてやつたらよからうかといふことは、相當皆様も御苦心になつて居る處と考へますが、私の處でも相當いろいろの方法をやつて見まして、結局は私の方と致しましては、選舉制度に依つ

てやつて居ります。併しながらその選舉制度といふものが一番いゝ制度であるといふやうなことを決して申上げるのではないのでございまして、斯ういつたやうな方法といふものは、要するに其處の各々の事業場所の歴史、傳統或は規模の大小、斯ういふやうなことに依りまして矢張り相當考慮を要するものであると考へます。

私共の所のやうに、人數が非常に多い處に於きましては、だん／＼やつて見ました結果、どう致しましても矢張選舉といふことで實は今も落着いて居るのであります。そこでこの懇談會に致しましても、何時も斯ういつたならばどうも古いかと考へますが、工場に依りましては只一つの懇談會といふやうなもので、立派にやつて行ける處があると思ひます。私はこれは單式と云ふて居ります。或は大きな工場になりますと、幾つも職場にさういふ懇談會を作りまして、さうしてそれを纏める大きな懇談會を作る、斯ういふやうな行き方で幾つも必要である。斯ういふことも矢張り工場に依つて現在やつて居る所が見受けられるのであります。私はこれを複式と申して居ります。

十一 懇談會の下協議會の構成

それからもう一つは此の懇談會のやりやうであります。只一つの懇談會でありましても、其の下協議會と云ふのを實はやる所とやらぬ所とある譯であります。一つの懇談會がございましてといふと、この懇談會を正式に開きます前に、私の方ではこれを下相談役會とか、又準備會とか云ふて居りますが、この懇談會を開きます前に、下協議會を先づ一遍労働者の代表者だけでやるのであります。さうして兎に角どういふ問題を出さうかといふことに就ては労働者の代表だけで集つて協議を致す譯であります。さうしてこれは私共の方の實際で申しますと下協議會を致しまして、さうして懇談會の問題を送つて来る。それで此の懇談會の方は労働者の方と、それから資本家と云ふ言葉は悪いかも

知れませんが、勞資双方の代表者が出て居りますので、送つて来た問題をこれに掛ける。それで此の下協議會といふことは小さい處でありますれば、必要はないかとも考へます。

私の方と致しましては只今では實は大きい所は二つの組織になつて居りまして、労働者は大體三十人に付一人の代表者を選舉致しまして其の代表者が集り、總代會と云ふものを構成します。この總代の中から約半数を互選させし是を相談役と申します。私の方の名前は總代とか相談役と云ふ昔の日本の名前を採用して居ります。此の相談役と申しますのは、職員側からも労働者側と同數以下の人數が會社より指名されることになつて居ります。是等の相談役が相談役會と云ふのを構成致しまして、これが懇談熟議の機關でありまして、即ち懇談會の正式な機關であります。が此の懇談會を開きます。その前に前述した様に、約三十人當りから一人宛を普通選舉で選舉させました總代の集會を開く譯であります。それで實は此の總代會が下準備會になる譯でありまして總代會のない處は下相談役會で此の問題を協議致します。此の總代會は大抵月の初めにやります。相談役會は月の終りにやるから、其の間に十日位あります。その間に研究致しまして腹案を作る、これは断らう、これは引取やうといふ肚を決めて相談役會に出席する譯であります。しかし初めから肚を決めて、ぼんと言つてしまふのではありません。向ふの言ふことを聞き、此方の言ひ分も云ふし、懇談を重ねて行く間に落着いて来る。現場ばかりでつかないものもありますし、そんなものは本店に云つてやらねばなりません。

例へば退職手當を上げてくれと云つたやうな問題は、現場だけでは本當は何とも返事が出来ないであります。退職手當の一年に何日分といふのを、もつと上げてくれと云ふ様な問題ですが、こんな問題は退職手當法による現實に關した問題ではありませんけれども、昔から會社にある方の恩給規程等に關するものですが、さういふことはそれはやらうとかいふことは現場では云へないので、本店で研究しなければ答辯が出来ない。さういふことを充分研究しまして下拵へをして出席致します。かういふ様に總代會、相談役會と云ふ二院制度を採つて居りますが、此の出来な小さい所は相談役會だけにしまして、其の下準備會をやつてをります。即ち同じ人間が下準備と正式と二度會議する様な事になる譯です。

十三 總代會による議事の運用

何故斯ういふことにしたかと云ふことを申上げて見たいと思ひますが、初め大正九年にやりました時は、兩方の代表者が揃ひまして問題を直に懇談會で協議した譯であります。それでありますから、どういふ問題が出るかといふことに就て知識がありませんから、此處に出て行つて始めて聞いて「あゝさうか」と斯ういふやうなことで、それは調べないと判らぬ。假に上の人が出しても、矢張り下の職員に聽かなければ判らないやうな問題が相當多い譯であります。それで上の人が出しても決定的な答辯が出来ない。係の者に聽いて見やう、研究して置かうといふことになつてあります。それから下の者が出ますと、それは俺だけでは判らぬ、工場長さんに聽かなければ判らぬ、社長さんに聽かなければ判らぬ。例へば風呂場の開場をもう一時間早めてくれなにかといふ様な簡單な問題にしても、其の風呂場に出て居る人間が、一時間早めて果して涉かせる事が出来るのか、間に合ふのか合はないかといふことが判らない。研究しなければならぬ。何の問題でも直ぐとこの場で返事の出来るといふ問題は尠いのでありまして、大體出た問題を次回に送つて、次回に答へやうといふことになるのが多かつたのであります。さうしますと云ふと、私の方の共愛組合懇談會に對する評判がだん／＼悪くなりました。

何だ會社は偉さうなことを云ふて、總代を出せといふことで懇談會、相談役會をやつたが解決はつかぬではないか、研究、調べて見やう、何時も延ばして許り居る、斯ういふのはつまらない、やめて貰はうではないかといふことになつた。それでこれはいけない、さうすると今のやり方は悪い、早く返事をしなければならぬ、さうして吾々の方でも充分問題に検討を加へて出て行かなければならぬ。それで問題を前以て充分總代の間で練らせまして猶その問題につき、當方でも充分研究して置いて懇談會に行きますと、よく話の筋も解りますし、又返事も出来る譯であります。それからもう一つは、いきなりぼつかり懇談會に出ますと、労働者の代表の言ふことが一致しない場合が出て來ます。例へて申しますと、電燈料を一つ上げて貰つて、今十五燭であるけれども二十五燭をつけて貰ひたい、それがためには今迄二十錢出して居つたのを二十五錢に上げなければならぬ。かういふ様な問題が起つた場合に、それは今の儘でよくはないか、五錢も上げるといふことは考へ物だ、と云つた様な反對意見が出る事がある。それでどれを採つていいか判らない。何だ君達は話が纏まらぬではないか、君達は委員であるし、君達が料金を出すといふならば電力に餘裕があれば燭光を増してよからう、然し君達の意見が纏まらなければしやうがないぢやないかといふ様なこともちよこ／＼出來て來るのであります。さういふことではいけない。それで總代會で練らせますと連中が熱心に練る、熱心に討議を致します。

一番初め、連中ばかりでやらせると賃金直上ばかり云ふかも知れぬ、一人位付けて置かうではないかといふので職員し者を付けて置きましたが、これは結果がよくありませんでしたから後でやめました。總代會の場面は議論が沸騰して、丁度喧嘩をして居るやうでありますので、心配になつて見に行つたことがあつたが、喧嘩ではありませんで、なか／＼議論沸騰、後には斯ういふ机の上に小植を作つて置いて、こつ／＼叩いて纏めるやうにしましたことでもあります。

が、この總代會の議長には労働者がなつて議論を纏めるのであります。百人位の總代會になりますとなか／＼纏めきれない。議場整理が難しいものでありますから、今度は總代會議長の外に何人かの相談役を進行係として附けまして皆で議長に加勢して問題を纏めるといふやうに今では致して居ります。なか／＼總代會議長と云ふのは皆で選舉しますから相當な人物が出て居る。それらの人はだん／＼と職員になるといふ人が多いやうであります。さういふやうに練らせませぬとよく洗練されたものが出て來ない。と云ふのは私共のやうな炭坑になりますと坑内と坑外とある。坑内にしろ採炭に運搬、支柱といふ風に仕事に分れて居る。それでそれらの人の間に議論がある。この頃餘程迅速にせぬと石炭を積む箱が廻つて來ない。空箱が廻つて來ないと石炭を積むことが出來ない。それで出炭が出來ないといふのが重大な問題であります。採炭夫は箱が來ない、箱を廻して貰ひたい、どうも此の頃は運搬係が努力が足らぬといつたやうな問題が出て來ると致します。さうすると代表の中に運搬係の代表が居るから、いや／＼お前達はさう云ふけれども吾々は努力はやつて居るのだ、然し昨日は機械に故障があつて廻らなかつた、今週からはうまく行くからその問題は見合せてくれなにかといふ問題が出て來る。そんな譯で談笑の間に問題が解消するものが相當ある。

斯様にお互に職場の違ふといふ處から出て來た代表者間に練る問題もございます。又さうでない、お互一緒の仕事であつても一方は左、一方は右といふ問題もございます。それでずつと練らせてやる。どうも實際、例へば私の方の關係會社の小さい鑛山、例へば小串鑛山などいふ處は長野縣の六千尺の山の上にございますが、あゝ云ふ所でも懇談會をやらせて見たのであります。豫備會議をやらせぬとさうもうまくいかぬ。あゝいふ成立以來三年とか五年とかいふ短い歴史の所でも、前に協議會をやらせますと案外纏つた問題が出て來ますので對策が樹てられる譯であります。どうしても斯ういふことから考へますれば、だん／＼と斯うして豫備會議をやらせるといふ風に行かねばならぬ

いのではないかと考へます。

十四 働く者の意見を尊重

それからもう一つは、これは私の頭も一つはひねくれて居るのかも知れませんが、働く人達は何時でも下協議会で充分議論しますから、所謂労働組合的の雰囲気と申しますか、さう云つたやうな役員も誰もゐない處で充分議論するといふことが出来ますので、よし問題が通らなくても充分に言ふといふことが一つの習慣晴らしになりまして、矢張り何かなごやかになるといふ點も相當にあるやうであります。そのことは私共でも相當體驗のある事だと考へます。出來ないことでも聽いてやるといふと喋り抜く、私共は随分聞き役といふものを何十年も勤めました。随分つらいことであるとも思ひます。けれどもどうも聽いて見ました其の上で「其の問題は君の云ふことも尤もだが、一寸今は斯う云ふやうな懸案で出来兼ねるがね、待つてくれ給へ」といひましても、本人は既に充分相手に腹の中を吐き出して居りますから、それでさつとごやかになりますので非常によくやるやうであります。さういふことはこの懇談会の席上でもありますが、下協議会で充分に議論させるといふことは相當先生達の氣持を和らげるといふことに役立つと思ひます。始めて總代を開きました時分には何れ資金直上げか、役員の懸口か、病院看護婦の不親切か、米が高いとか、さういふことばかり言ふであらうと考へましたけれ共、實際はさうではありませんでした。尤も初めは幾分さういふ傾向があります。代表者が選挙等で選ばれました其の當初は鼻息が荒いので、これは何處でもさうだと思ひますけれども二三回やつて居ります間にさつと氣分が和いで來るといふことは誰もその通りであると思ひます。さういふこともだん／＼やつて行きます間にさういふ心配はなくなりまして、矢張り下協議会で議論して貰ふ方が結局は問題を解消

して行く上に都合が、斯ういふやうになるやうに思ひます。

それから次には代表者の選出法に就きまして只今私共の方は選挙でやるといふことを申しましたが、大體代表者の人数はどの位がいゝだらうか、斯ういふことになるかと、これは工場、鑛山の銘々の働く方の數に依つて違ふのでありまして、五十人や百人の所でありませれば、これはさう難しいことはないか、十人も居つたらばいゝぢやないかといふやうな氣が致します。何千人、何萬人となつて参りますといふと、どの割合に一人の委員を置くかといふことは、どうしても選挙にしましても、指名にしましても、問題になるのではないかと考へます。私共の考へます數は先づ大體人数の少い所でありませれば、十人に一人位を置くといふことが、恰度いゝ數ではないかと考へます。だん／＼と人数の多い處になれば、そんな割合に選んだのでは、それでは一萬人に一千人置かなければならぬといふことになりまして、さういふ處に於きましては其の割合を二十人、三十人と上げて行きます、まア五十人位に一人の代表を置くといふことはいゝのではないかと考へます。

これもあまり百人に一人といふ風になりますと、この協議します所の問題を集めるに致しましても、又出される問題がいろ／＼と懇談熟議された結果を皆に報告をするといふ點に於きましても、非常に困難になつて來るやうであります。人数があまりに多いのに代表者が少い、二百人に一人、千人で五人と云つたやうな人数では少過ぎまして皆の意氣が出て來ませんし、話合つたことを皆に傳達するといふことに就ても不完全であるやうに思ひます。先づ五十人位がいゝのではないかと考へて居ります。

十五 選挙による代表者選任方法

それから指名でござりますが、指名といふ方法は何處でも初めはそれをお用ひになるし、それになりがちなかど考へます。これは一應尤もなことでありまして、代表者になるやうな人を誰がいゝかといふことは、労働者仲間にも充分に選ぶことの出来ないやうな場合もござりますし、又變な思想を持つて居るやうな人が出て來れば困るといつたやうなことが當初に於ては氣にかゝりますので、指名といふことが行はれるといふことも考へます。所で實際私なども最初指名などをやつて見たのでありますが、これにも矢張り非常な長所と短所とございまして、長所と致しましては極く穩健な脱線しないやうな人が、まア代表者になる譯であります。同時にこれらの人は充分に労働者の抱懐して居る處の考へ方を、懇談會の席上に現はすことの出来ないといふ缺點を持つて居るやうであります。これも工場、鑛山の歴史、乃至は傳統に依りまして一概に云ふことは出来ないと思ひます。いろ／＼な理由があると思ひますが、斯ういつたやうな人は比較的役員とも親しいし、會社の事情も知つて居りますし、人物としましてよい人が多いのでありまして、少し位のことには不平を云はないといふやうな人が多いやうであります。さういふことが原因となりまして、矢張り役員などにも親しいものだから、問題を出せば役員の揚足を取ると云つたやうな形になる問題等に對しては能く出さない。

或は會社經營といふことに就ても役員と親しいものだから或程度迄よく知つて居る。さういふことから、さういふ問題を出しても駄目だぞ、會社の事情から致しましても値上げをしてくれと云ふても通らないぞ、といふやうなことから、出さないといふこともあるやうに思ひます。次にはその人が人物がよいといふので、矢張り物事に不平を起さないといふやうな人格的な立派なことからしまして問題を出さない。こんないろ／＼なことがあると思ひますが、えましてこれらの人は、不平不満の問題が假りにあるとしましてそれを議場に持つて來ない。斯ういふことが非

常な缺點だと考へます。

それから次には選舉であります。選舉といふのはこれを初めておやりになる處に於ては、殊に心配なざる點ではないかと考へます。殊に工場、鑛山の歴史などの上から申しまして、其處に今迄いろ／＼な團體が歴史的にあつた。今も表面は消えて居るやうだけれども内容は實際あるのだ。斯ういふ處に於きましては選舉といふことが殊に不適當である。適切なる人を出さないといふやうな傾があるといふやうなことで、非常にこれは心配される點が多い制度だと思はれるのであります。然し私共の方で事實やりました結果と致しましては、どうしても矢張り選舉でありませんといふと、實はいろ／＼な場合に困つたといふことを體驗致して居ります。といふのは、例へばいろ／＼な重要な事件が起りました時分にも、指名された處の代表者はそれではようございまして、お引受けてやつて見ませうといふやうなことは、なか／＼言はないのであります。元々指名してありますし、一見順良な人がなつて居りますから引受けられないのであります。他の者が文句を云つた時分には、どうしやうかといふことが先に立ちますから何も云はない。黙つて居るといふことがありました。選舉から出て來た代表者はだん／＼と代表者だといふ意識が指名よりも強いものでありますから、いろ／＼な問題を議論しますに就きまして、或る程度迄はようございませう、それではやつて見て下さい、私共も皆に其の旨を云ひますといふやうな、或る點の責任を負ふといふやうな點も指名よりも多いと思ひます。

例へば十錢でも金を出して何かやらう、例へば今度静岡に大火があつた、十錢宛出して見舞金を送らうではないかといふやうな問題が起つた場合に、選舉された人はいゝことですから十錢以上でもいゝから計畫をして下さいといふやうなことを云ふて引受け方はつきり致して居ります。斯ういふことは又工場に依つて違ふかも知れませんが、私

の體驗しました處ではさういふやうなことがよくあります。それから選舉された人はよくいろ／＼な不平を云ふ人が相當其の中に這入つて居ります。と云ふのは自分達が選舉されるといふことに就ては、あれはよく自分達の考へを讓長達の前でよく述べてくれる、だからあれを選舉しやうではないか。私共の方は選舉の場合には相當競争がありまして所謂選舉競争といふのがありますので、選舉取締規則といふのを作りまして、人を脅迫したり、金で買収したり、飲食を提供したりする人は嚴罰に處すといふ規則を作つて居りましてそれをやる譯ではありませんが、だん／＼進んで來ましたから立候補の制度を採つて居ります。「私は今度立ちます」といふ扇を出させまして、二人の定員の時に二人しか候補者が無い時は實は選舉せぬといふ、衆議院と同じやうなことをやつて居ります。さういふやうなことで自分が何も云はない人間だといふことになりまして、又の選舉の時に落選する處がありますので、矢張り相當皆の考へて居る事は云はうといふ氣があります。人に依つて無論違ふのでありますけれども、指名と比較した場合にはさういふ差は明白にあると考へます。

恰度私の方の先刻申しました小申嶺山で一昨年山崩れがありまして二百人許りの人達が死んだといふ事件がありました。實は、私は恰度昭和十二年の三月にこつちに出て來ましたが、其の五月に小申には未だ何も懇談會見た様なものがないといふ事でしたので、私の方から頼んで作つて貰つたのであります。最初でありますから代表者は指名にしてあつたのであります。その相談役の連中も此の山崩れの時によく働いてくれたのであります。後ではあれは會社から買収されて居る、まだ懇談會といふ様な事に經驗が積んで居りませんものですから、あれ達は會社から買収されていゝ加減に相談に應じて居る。是ではいかぬといふ聲が出て來ましたので、事件が一段落になる半で、選舉に變へて代表者を換へたのであります。後から選舉で出た連中は前よりも一層こちらの云ふやうに働いてくれたのであり

ますけれども、選舉によらなければならぬといふことが、極く歴史の淺い處でありますけれども、さういふ傾向があるといふことは申上げられると思ひます。

十六 徹底した普通選舉で選任

それから選舉或は被選舉資格といふやうなことでありますが、私の方では一年以上の成年男子が被選舉權がある。選舉する資格は選舉日に居つた者は男であらうと、女であらうと、子供であらうと、老人であらうと、凡て選舉資格を與へて徹底的の普通選舉を致して居ります。

それから投票は單記投票と連記投票がありますが、私の方では單記無記名でやつて居ります。それから立會人は労働者の中の錚々たる者を立會はせるといふことはなか／＼大切な點でありまして、選舉を正確にやりますためには勞務係長などもすつかり會場に行き、衆議院議員選舉同様に嚴重にやりまして、さうして間違がないやうに致して居ります。だん／＼と私達の産業報國會、私の方で云ひますれば共愛會と云ふものが、丈夫になつて來るに従ひましてこの選舉の競争が激しくなります。大體選舉に無關心で、誰でも代表者になれとか、或は盪廻しでやらうではないか、年長者からやらうではないかと云つたやうな處では、懇談熱も熱が薄うございまして、その成績が擧らぬのでございます。矢張り選舉競争位やる處がどうしても何を致しまして熱がありまして皆が熱心であります。どうもさういふ風な傾向になつて居ります。

又只今選舉のことを申しましたが、委員の選出法と致しまして指名と選舉を混合して使ふといふことも一つの方法と思ひます。先づ初めに選舉しまして十名ならば十名を出し、其の内の五名を會社が指名すると云つたやうな方法も

場所に依り、時に依りましては混せて使つて面白いのではないかと思ひます。これは懇談會ではありませんが、炭坑では後山と云ふのと、先山と云ふのがあり、後山と云ふのは石炭を炭に入れて擔ぐ方であり、先山と云ふのが鶴嘴で掘る方であり、掘る方が収入も多く其處に居る皆を率ひて行くやうになつて居ります。後山から先山に熟練者から變へて行くのでありますが、茲には係員の考へで適任者を出して居つたのであります。處が擔ふ力とか、掘る力といふものは、係員が見ましても落度がありまして、仲間で見ただけには及ばないのであります。そこでだん／＼不平が出て來まして、俺はあれより働があるのに、どうしてあれが早く先山になつたのだらう、何か酒の一升も持つて行つたんでなからうかと云ふことを、大正の初め頃の事でありましたが、噂が起つた事がありましたので、これも或る時に協議致しまして、連中に十人なら十人、二十人なら二十人、後山から先山に變へなければならぬといふ適當な人を選ばせて、さうして其の中から指名するといふことにしました處が、非常によく落着いたといふ體験を持つて居ります。さういふやうなこともございますから、これを折衷して使ふといふことも面白いではないかと考へます。

それから職員の中から會議に出る人の選定であります。之は餘程重要な人を出して載き度いと思ひますので、段段と會議の模様などに就きまして、それを知るといふことも必要であります。矢張り仕事の上で社長なり、工場長なり、重要な仕事をして居られる方が出て、さうして協議に與られるといふことが一番必要だと思ひます。さうして之なども初めは労働者側から五十名職員側から五十名、假にこちらを十名にすると、こちらも十名といふやうに一名でもこちらが多くてはいかんといふ事で、斯ういふやうなことに拘泥致したのであります。規則の中でも兩方から同人數を選定するといふことにして最初規則を作りました。それから並び方にも入れ混せて行かうではないか、一方に會社側が並び一方に労働者側が並び、斯うなつては階級意識の對照ではないかといふので、矢張り混ぜ

合せて並べやうではないかといふやうな議論もありまして、色々心配した問題でありましたが、矢張り成功して居る點もありまして、段々やつて行きます間に何んでもいふやうになり、職員などは澤山出ましても労働者側も何んとも言ひません。成るだけ多く出して下さいと、中には餘計出すことを希望して居るのであります。

問題が出た時「職員側が少くは事情がよく分りませぬ」と労働者側の方から希望して來ます。仕事の都合上交り番に出る處等もありますが、夫かといつて労働者側から職員側の出が多いとか何んとかいふやうなことを云つた事は殆どありません。尤も當初は少しは考へるかも知れませんが、又會社の方でもさういふことを推察して彼等が嫌ふだらうといふやうに考へたり、又時には採決權を持つて居る議長をこつちにさらなければ、之達がいきり立つた時は駄目ではないかといふことを考へた時節もありますが、結局やつて見ますと、之などは問題にならないのであります。座席なども來た順に並んで行くといふ風で話もうまく行く。之は日數を積んで、經驗を積んで参りますと斯ふいつたことは問題にならんやうになつて参りますが、當初と致しましては、さういふやうなことにも相當頭を悩ました問題であります。

十七 懇談會開催に就ての心構へ

それから職員と致しましては重要な人が出て戴く、私の方と致しましても今迄は相談役會の議長と致しましては、よく勞務課長、勞務事務長といふやうな人がなつて居りましたが、此度の共愛組合を産業報國共愛會に改組致しました時からは、議長は大抵所長がなつて居ります。その所長が熱心によくやつて案外に思ふ程であります。同時に所長が小さい問題に通曉して來まして、勞務係なども困るとか何んとかいふやうに小さな問題迄も通曉して來るといふ

やうになつて参りまして、例へば今度の物價問題、賃金ストップ令で賃金は上らないのに、物價は騰るといふやうな問題に就きまして、今迄は勞務の擔當者が主として心配して、答辯しなければならぬ責任があるのでありますが、今度はそれに加ふるに所長達が出て答辯しなければならぬ。所長達が相當關心を持つやうになつて参りまして、色々と問題の解決策に就きまして、今迄よりも頭を入れて考へて貰ふといふやうになつて参りました。之は斯ういふ議場に出まして勞働者の聲を聴く、さうして事情を親しく見聞するといふことからも來ます。又始終顔を合せて居りますと矢張り之に愛情が湧くといふやうなこともあります。色々なことがありまして所謂上和下睦といふやうなことが出来るのでありますから、矢張りさういふやうに解決にも熱心に所長級がなつて來たといふことは非常にいい結果だつたと考へて居ります。さういふやうな點も御座いますので此の職員側代表者には相當重要な人が出て戴く。

それから懇談會を開く場合で御座いますが、之は何處でもいふやうなものであります。又工場に依りまして食堂があるといふやうな處では、さういふ處で結構であります。しかし段々と設備が出来まして、餘裕のあられる處でありますれば矢張り懇談會場といふものは、相當すつきりした處を設備して戴くといふことがよいのであるといふことを考へます。さうして正面には神壇、佛壇などを置いて禮拜をやつて初めるといふことは非常に之は面白い。尤も初めからそれを致しませんが堅くなり過ぎて意見が出ないといふことも御座います。段々と場数を積んで行きますればさういふやうに遙拜を行つた後に開く。或は皇軍將士の英靈に默禱を行ふ。或は戰勝を祈るといふやうなことをやつてから會議をやるといふことも、年功の積んだ處ではやつて居りますが矢張り面白く行くやうであります。勿論懇談會場は講堂でよいのでありますが、その講堂の正面には神佛壇を置いて、さういふ場合には神佛を禮拜するといふことをやることはよいことであると思ひます。之も工場、鑛山の歴史、又はスケール等に依つて多少手心を加

へて行くといふことも必要だらうと思ひます。

それから懇談會の回数と日であります。何回位がよいかといふことに就ては一月一回位がよいのではないかと思ひます。勿論其の場所に依つて違ひますが、事業の種類に依つても違ひますし、一月一回位が大體よいのではないかと思ひます。半年に一回といふことになる問題が積るので、私共のやうな収入の取り方が變り易い即ち炭層が高くなり、低くなり、水が出た、瓦斯が出たといふやうな處では六ヶ月に一度では間に合はないのであります。矢張り一月に一回は總代會と相談役會を開き、人に依つては二度出るのであります。それが恰度よいのであります。それから問題がないといふ時にはどうするかといふのであります。問題がない時も開いて戴く、若し向ふから問題がない時はこつちから出せばいくらでもあるのではないかと思ひます。殊に産業に協力するやうに、さういふ機會に議長になられる人が豫て問題を用意して置いて、日本の國情を云ひ、世界の趨勢を述べる、職業に關することを言ふ或は色々なニュースを聴かしてやる。常に用意して居つてさういふ機會に代表者をリードして行くといふことを考へて居られるならば問題は有り餘るやうに御座います。向ふが出ない時には茶話會でもやつて、きちんと決つた日取には開いて行く。今日は忙しいから止めた、今日は議長さんが何處かに行かれたから止めた、斯ういふやうなこのないやうにしなければならぬではないかと思ひます。それから時間は就業時間の間に開くといふことが、どうも結果はよいと思ひます。中には私の方は時間内には勿體ない、時間外にしてくれと、殊勝なことをいふ者もありません。共、一體會社の事業としてやる場合に時間外にやるといふことになりませんといふと、矢張り段々と成績が面白くないやうになると思ひます。就業時間内にやる、さうして時間外にやつたならば或る程度の手當をやるといふことは矢張り必要だと思ひます。非常に昂奮したり、感激したりした時には私共は手當はいりませんと云ひます。永い間

やつて行きます爲には矢張り懇談會の爲にやるといふことが、産業經營上から云ひまして仕事に出てやつて行くのと變らないのでありますから、時間外にやる時は手當をやるのが至當でありまして、それが永續してよいと思ひます。

十八 平安清明裡に會議を進行

それから懇談會の主催者であります、前にも少し述べました様に之は非常に人選を要するものでありまして、成るべく立派な、その工場に於いて一番重要な方が當つて戴くといふことが大切と思ひます。非常に僭越でありますけれども、主催者には斯うした人が欲しいといふことを考へて見たことがありますから、それを申上げて見ますといふとどう致しましても私は主催者としては祖國愛、同胞愛に燃える高邁な精神を持つていられる方が必要であると思ひます。どうも主催者としてはこの事業をやつて行く、斯ういふ懇談會をやつて行くことは、結局は自分達の祖國を受する所以だ、我々同胞が之に依つて本當に産業を擁護して、皇運扶翼の爲に働く事が出来るのだといふ氣持が非常に必要ではないかと思ひます。又私共が働く人を取扱ひます場合に、之が自分の同胞であるといふ氣持で其の人達に接するといふ、心の底に持つて居ます愛情、斯う云つたものがなかつたならば、懇談會はスムーズに行かない。「あれが又あんなことを言ひくさる」といふやうな氣持を持つて、「又あれが物を言ふ、此の次には選舉で落してやれ」と云つたやうな氣持を持つて居つては、此の會議は中々圓滿に行かないのであります。

それから次には清明平安の氣持を持つこと、常に清らかな明らかな氣持を持つてこの事に従ふ。之は私と致しましては事業の經營から申しましたも清明道といふことで事業を經營して行く、公明正大に事業を經營して行くといふことが根本精神と思ひます。我々の祖先が「清らけく明らけく」と祝詞に云つて居りますが、之が非常に大切なことでは

ないかと思ひます。そこに平安そのものが生れて来る。清明が表で平安が裏である。清明が原因で平安が結果である。清明に依つてさういふ氣持で産業報國會を經營致しますれば、従つてその報國會が平安の中に行はれると思ひます。事業でもさうであるのであります。

次は教化指導の立場を堅持するといふことであります。常にリードして行かふといふ氣持がなければならぬと思ひます。よくまだ馴れない中は五分五分になつてすぐと辯駁をやる。激しい辯駁をやるといふやうなことがあるのであります。矢張り教化指導するといふ受けて立つといふ態度が、非常に必要ではないかと思ひます。

次には代表者に充分意見を述べさせること、之なんでありまして、意見をよく云はせるか、云はせないかといふことは議長態度で較れて來ると思ひます。頭から「君そんな馬鹿なことを云ふことがあるか、君は何遍教へても判らないね、この前も君は言つたぢやないか」とさう云つた言葉を浴せれば、その次から口をつぐんで云はんやうになると思ひます。之は下手なことを云ふなど考へましてもそれは「君の云ふことは一理ある、一理あるが僕の言ふことも聞いてくれ給へ、此の邊はどう考へるか」と云ふと、「それもさうですね、成程さういふ點がありますかね」と聽入れてくれると思ひます。矢張り頭から否定しきつて澤山の代表者が居る前で何と申しますか、すげなくやつつけるといふやうに「そんなことは駄目だよ」と云つたやうな態度は之は主催者として考へて行かなければならぬと思ひます。勿論非常に眞剣な問題で堂々と説破しなければならぬやうなことになるますれば別であるが、普通の懇談會等に於ては、よく主催者として向ふに意見を言はせる爲にはそこが大變必要だと思ひます。

それから解決に熱意を有ち信頼をされると、何遍出しても研究しやう、調べて見やうといふ行き方だけで、一向や

つてくれないといふことになれば、皆から信用を失ふてしまつてその後の懇談會の經營がまづくなつて来るやうであります。

十九 人情の機微を把むことが肝要

最後に矢張り労働者の生活と心理を把握するといふことが大切であります。主催者になられる方は労働者の生活向なり、心持などを知つて置くことが必要と思ひます。時には代表者が皆口を揃へていふことでせ、腹の中では議長がとめてくれよばよいといふ氣持でやることもあるのであります。一概に「よし」といふことでやれば案外先生達の不満を買ふといふやうな複雑な場面も出て來ることがありますので、さういふ時には先生達の氣持を知つて、豫々生活向なり、心持なりに就て知つて置くことが必要であらうと思ひます。之は中々難しいのでありますが、私は色々な行事をやるといふことは要するに先生達とよく接觸しまして、向ふの氣持を掴むといふ處に觀點があると思ひます。色々な行事をやる、旅行をやる、潮干狩をやる、山登りをやる、テニスをやる、釣をやる、擊劍をやる、野球をやるといふやうな色々な行事をやります間に、向ふの人と仲良くなる。隔意なくなり、よく率直に物を言ひ得るやうになることが狙ひ處であります。之が一番肝要と思ひます。それ／＼催物に依つて特色を持つてやつて居るのであります。剛健な精神を養ふ、強健な身體を鍛練するとか、色々な目的はありますけれども、その中でも催しを通じて我々が考へて居らなければならぬことは、さういふ催しに依つて或は青年、或は老年、或は家族、さういふものと仲良くなる。隔意なくなり、氣持をつかむといふ處に重點を置くべきであるといふやうに私は考へるのであります。

大體さういふやうなことを申上げて――猶この懇談會をやるに就きまして、議長一人が正面に立つて答辯應答

して苦しんで居る、或はこちらの總代會の議長が之を言ひ、こちらの方の主宰者が主として答辯する、そこで一騎打のやうになる。斯ういふやうな様子のある處がありますけれども、成るだけさうならぬやうに、こちらの方も色々な人が出て居りますから、之がシテとしまして、ワキシが居りまして、之を取持つて行くといふことが必要であると思ひます。この邊が經驗の積まない處は主宰者一人が立つて答辯する。外の人が言ふと、悪いことを言ふと困るといふので口を差挟まない。黙つて居るといふ懇談會は主宰者も心配しますから、懇談熱議がよく行くといふことが難しいやうであります。さういふ時に例へば、之を社長がやると致しまして勞務擔當者等の勞務者をよく知つて居るワキシが居りまして、ユーモアを混へて時には冗談も云つて、時にはドツと笑聲が上るといふやうなことも必要ではないかと思ひます。時には緊張もしますが、時にはドツと笑ふといふやうに、矢張り議長になる人は石部金吉と云ふやうな堅いことばかり云ふのではいけないのであります。時には冗談の一つも云つてドツと笑ふといふやうな笑聲が議場から出るといふやうなことも必要と思ひます。私は争議の場合に幾度も經驗しましたが、ワキシが居つてうまいことを云つてくれて險惡な空氣が和かになつたといふ經驗を持つて居ります。ワキシが居つて勤めてくれると、懇談會が圓滿に行くと思ふのであります。

それから今度は懇談會の運用の消極的目的といふことを段々申上げ度いのでありますが、從來産業報國會などのやつて居りますのは主に消極的方面であります。或は不平不満の消極的對策、或は争議防止の對策といふことをやつて居りますが、主なる目的は不平不満を早く發見し、之をなくして、それがないうやうにして行く。向ふの腹の中に蟠りを持つて居る、之をよく出して貰つて、煙突の役を勤めさせて貰つて、皆の不平や不満を解消するといふことが、私は矢張り第一の務めになつて居つたと思ひます。大體今迄の工場委員制度といつたやうな方面には、主に此の方面

が重要な目的になつて居りまして、何んとかして工場鑛山にさういふやうな紛擾がないやうに、氣持よく仲よく仕事
の能率を擧げて行くやうに、この點に重點を置いてやつて来たことを考へます。或はさういふやうな所でお互に腹の中
をさらけ出して、さうして齒血した氣持を散らすことが出来れば、争議にもならず済むであらうといふやうな事
大體に於きましては、今迄の工場委員制度が煙突の役を務めてくれればよい、瓦斯が溜らんやうにすればよいといふ
やうに、私共などの炭坑などには恰度之に當るものがあります。

坑内の所々方々から、例へば爆發瓦斯が出てそれが溜るのでありますが、通氣がよいと自然に空氣の中に混つて外
に出るのでありますが、そのベンチ・レーションがよくなければ爆發瓦斯が溜つたり、炭酸瓦斯が溜つたりして、遂
に非常な爆發を起したり、或は窒息死亡者を出すといふやうなことが起つて來るのであります。大體之は人間にも斯
ふいふことがあるやうに思ひますので、段々小さな不平がありまして、それが溜りますと相當大きなものになりま
すし、何かの機會に火がついて爆發する。恰度今日のやうに賃金ストツプと、物價は騰るといふやうなことがありま
すと豫て不平不満が溜つてなければ、どうやら此の難關を突破することが出来るやうな處にあてつも豫てから多少問
題が溜つて居つたといふやうな處では、遂に之を機會に爆發するといふことがあり勝ちなことと考へます。何んとか
してさういふことがないやうに、懇談會が役に立つて、さうして問題が爆發に至らないやうに、よくスムーズに行く
やうにといふことが從來の眼目であり、又今後に於きましても當分は矢張り、斯ふいふことがあつてはいかんであ
りますけれ共、先づさういふことに重點を置かなければならない方面もありまして、それが日本の産業の先づ常態で
はないかと私は考へる譯であります。大體と致しましてはその運用にしても、積極的方面がよく伸びて來るといふこ
とにならないければ、懇談會の本當の目的を達することが出来ないといふやうに考へます。併し初めから中々積極的の

方面の目的を之に依つて到達するといふことは、相當骨の折れることと考へますが、併しそこ迄之を持つて來なけれ
ばならないといふことは之は當然のことと思ひます。

二十 懇談會を通じ教養を高む

積極的方面と申せば能率の増進、或は災害の防止、或は考案の奨励、無駄の排除と斯ふ云つたやうな、事業の經營
上どうしてもやらなければならぬことが、積極的方面と申して居るのであります。この方面に懇談會が充分に役
に立つて來る。産業報國會が其の名と同様に、國家の産業に貢獻奉仕するといふことにならなければ、本當は産業報
國會を作りました本來の目的を達することは出来ない。斯ふいふ譯になるのであらうと考へます。所で能率増進に致
しまして、災害防止に致しまして、その他のことに致しまして之をやらうとします場合に、それに就て充分に
理解させる。さうしなければ眞の効果は得られない。能率を擧げて行かなければならない。例へて申すならば、我々
の炭坑業のやうな處に於きましては、今日に於ては別問題でありますけれ共、從來の建前から申せば、外國の石炭掘
りと太刀打が出来ない。

私の方で例へて申せば、三池の石炭を出しまして、シンガポール、或は上海と云つたやうな市場で、英國の勢力の範
圍から出て來ます石炭に打ち勝つには、どうしても能率を増進して噸コストを下げる、斯ふいふことにならなければ
我々の販路を擴めることが出来ない。販路を擴めなければ到底此事業は成立たないといふやうなことに就きまして
よくこの總ての勞働者並に幹部、就中懇談會の代表者、斯ふいふ人によくそれを判らせなければいけません。斯ふいふ
やうに考へます。之に就きましてはこの懇談會がうまく行くといふこと的前提は、矢張り教化を徹底的にやつて行く

どうしても總ての方面から教育修養の機会を興へまして、それ等の人を立派な産業人に仕立つて行く、斯ういふことは何んどしましても、やらなければならぬことと考へます。私はこの鑛山の教育を進めるといふ目的としては、公正なる批判力を養ふといふことを眼目と致しまして之を進めて行つた體驗を持つて居りますが、どうしても一度不平家から聽いて直ぐと引つくりかへるやうな人達を、相手として仕事をして行くといふことでありましては、いつも不安心であります。さういふ話を聽いても、一應はそれを考へて見て批判して見て、日本の現在の状態でさういふことは出來ないとか、或は此の工場でそんな賃金を出したならば工場が立つて行かないといふことに就ても一應は考へて見る。斯ういふ批判力を持つた所の職工を作らなければならぬといふことが、どうしても何處に於きましても大變大切なことと考へます。

どうも教養の程度が低い時代にはすぐと附和雷同致しまして、誰か何んどか言ふと直ちにそれに無批判で従ふ、斯ういふことになりまして、さういふやうな人を相手にするのは、もう不安心でなりませんし、又さういふ人は、得てして暴動等起すといふやうに私は考へます。何れは假令紛擾が起ると致しましても、假に云へば際るといふ態度で、兎に角問題を携けてこつちをやつて來ると、それに對してこちらでも充分討議を進めて話をすれば際るといふ、斯ういふ行き方で來れば非常に都合がよいのでありますけれども、それでなくして、もういかん、もう何遍云つても同じことだといふやうに、早くから短氣を起すと申しますか、すぐと腕力沙汰に訴へる、或は煉瓦を投げる、或は鐵片を所長室に投げ込むといふやうな、斯ういふやうな暴力行爲、直接行動に訴へる。すぐとふら／＼あつちに一團、こつちに一團かたまつて仕事をしない、斯ういふやうなことでは到底將來日本の産業を發展せしむることは出來ない。さういふやうな人達は多く私の考へから申せば、或は之は見解が狭いかも知れませんが、どうも教養が低いといふ人

が確かに多い、さういふ傾向が非常に多いと斯う考へます。

それで例へばさういふ教養の低い人を非常な權力を以て、或は威力を以て使ふといふやうな場合には、それは別な現象が出るかも知れませんが、例へば今日の日本の鑛業法なり、その他の警察の取締といふ範圍内に於きまして使つて行かう、同じ條件の下に使つて行かうと、斯う考へます場合には、どうも教養の低い人は色々な場合にすぐとその話が何んど申しますか、話せば際るといふやうな方法ではありませんで、すぐとも愚圖々々云つて休みますといふやうな風になり勝ちと考へるのであります。之が矢張り教養が進んで來ますといふと、さう簡單に中々すぐと仕事を休むとか、すぐと打壊しにかゝるといふやうなことはやらない。尤もその例外がありまして非常なインテリの人達が、階級闘争の思想に深く指導されました、その考へからしてやる。斯ういふやうな場合には相當に教養の高い所の人さういふことをやる。斯ういふことも出て参りますけれども、さういふ風なインテリの人で一方に傾いて居るといふ人は、結局本當の教養をまだ受けて居らないのである。どうも一方に偏して居るといふことは一方的の教育を除りに受け過ぎて、本當に全部がよく見えない。恰度富士山の南の側に立ちまして、駿河の方だけを真て居る人である。頂上に登つて兩方を見渡したことの無い人であるといふやうに考へるのであります。大體から申しますればどうしても理解の低い人は問題が起つた時に亂暴になる、さう云へるのではないかと考へます。私は大正二年に炭坑に参りまして色々やつて居ります間に非常に皆が際らんであります。理解が乏しいと申しますか理解力が低いのでありますして何遍言ふても際らない。私の考へでは之も何時も教化方面の話を申すのであります。十遍話をした時に一割の人が際ると考へて居れば間違ひないといふ私は考へて居るのであります。同じ話を十遍話しました時に百人の中に十人際れば私は結構だと考へて居ります。さういふことに就きましても段々實際私共には體

験を経て、その證據を擧げるといふことも出来るのでありますが、得てして私達の仲間の者でも、何遍言ふても瞭らん、もうあきれたとか、もう之はとて相手にならんとかといふ風に投げてしまふ人も居ります。

或はもう三遍も話して居るのだから充分連中も瞭つて居る筈だといふ考の下に、もう言はんでもよからうと思つて失敗した人もあります。處が實際やつて見ますといふと、今云つたやうに十遍話して一割判ればよい位の程度でありまして、最近でも色々な場合に、天長節といふ問題に就きましてよく譯が瞭らないといふやうな事で、實にお互でもあきれたことがあります。私は最近或る席上で白石元次郎先生から聞いたのでありますけれども、大學を出た人で權原神宮は何處に祀つてあるか、誰方をお祀してあるかと聞いたが、之に答へられなかつた。あんなことでは呆れたといふことをお伺ひしたのであります。高等小學卒業生などに、天長節を聞いても中々はつきり答へる人は少いのであります。私共が職天勞務扶助規則とか、工場就業規則とかいふものに就て働く人を集めて話しても、瞭る人は早く瞭るけれど、全體から申しますと中々よく瞭らんであります。それでそれを非常に氣に病む人がありますけれどもいつも私は其の人に申すのであります。一遍で瞭るやうなら我々勞務係はいらんではないか、判らないからいるのではないか、あの人達が一遍言つてよい人になつてしまふ、もう一遍言つたら止めてせんといふやうな人達の集りであるなら勞務係はいらぬ。瞭らないから何遍もやらなければならぬし、其處に我々の職業もあるし、飯も食へるぢやないかといふことを申したことがあります。實際之は案外でありまして、それは悪い方面ばかりではありませんで、例へば退職手當規程といふやうなものの中々覚えません。

例へばさういふことに就て會社がするいし、之は一つ覚えて置かなければならぬぞいふ處では帳面につけたり色々なことをして覚えませうけれ共、比較的信頼をして居る、この會社はさういふ心配はないといふことになると思

ません。覚えなないといふことだけを悪くいふことはいかないのであります。信頼がある時にはそんな規則は覚えんでも辭める時には退職手當を間違ひなくやつて居るから、覚えんでもよいではないか、さういふ難しいことを覚えんでもよいではないかといふやうな點もあるのであります。夫れで一様にさういふことには悲觀する必要はないと思ふのであります。それで之はさういふことには當らないかも知れませんが、いつも私は「密らしむべし、知らしむべからず」といふことを攻撃される方がるのであります。本當に密らしむるには、その前に充分に知らしめて、之は誤つたこととはしないのだといふ信頼心が出て來なければ、密らしむるといふことは出來ないのであります。例へば計算する時に始終金銭上の間違ひが出て來て、やれ五圓足りないといふやうなことが出て來ますと、勞働者連中も貸金簿簿を見せしてくれといふことで、事務所に來まして調べるのであります。處か私共にさういふ誤りがありませんで、殆ど大丈夫といふことになりまして、袋の中を見ないで持つて歸るのであります。之などは實にこつちのやり様如何に依つて規則を勞働者が覚えなければならぬとか、或はこつちのやり様に依つて覚える必要はない、委せて置いて間違ひないといふやうになつて來るのであります。所謂先生達が信頼を持つて來るといふことは、その前に充分知らしめて、すつかりよいことをやれば寄るのだらうと思ふ。さうならなければ密らんでありますから從來の解釋の仕方は、總て古人の氣持をよく採り入れてないのではないかといふやうな氣持が私は致すのであります。

二十一 教化事業の完備と人格の育成

さういふやうな譯で要するに積極的方面に之を持つて行く、又連中が中々考案獎勵などを出して來ますので、私共の考へから致しますれば、技師長と云つたやうな人は、澤山の勞働者の小發明を集めて、之を統一して作業經營の上

に役立たしむるといふ力を持つて居る人でなければ、本當の技師長になることは出来ないと思ひます。勿論その人が自分で發明されるといふことは勿論よいことである。其處に特徴があるのでありますが、小發明を綜合統一してやつて頂くといふ處に本當に協力道も行はれますし、事業も榮えて行くのではないかと思ひます。懇談會の運用に依つては斯ふいふ處迄充分進み得ると思ひます。

次には懇談會と厚生運動であります。矢張り懇談會を通しまして、生活刷新とか、保健衛生、貯蓄奨励といふことを致す。之は非常に適切と思ひます。産業報國會の懇談會を作つたけれ共仕事がない。斯ふいふやうなことは決してないのであります。事業の規模の大小、或は田舎にあるとか、都會にあるとか、その他この設備が行届いて居るとか、行届いて居らないとか、さういふやうなことが無論影響があらませうけれ共、さういふことは從たる現象でありまして、何かの仕事をやつて行かう、斯ふいふ氣持さへあれば、この懇談會の仕事は次から次と出て來まして殆ど盡さないやうに多いと思ひます。さうして小さい處は小さいなりに専用修養道場などは持たなくても、公園なり、寺なり、神社もあり、佛閣もあり、色々公共團體の設備もありますからさういふ處を利用して充分出來ると思ひます。

猶懇談會の教化運動でありますが、皆を教育して行くといふことに就きましては、どうも先から申上げたやうに産業報國會懇談會がよく行くかといふことは、要するに皆を教育して批判力の充分にある常識の發達した素直な人間を作るといふ處にあるのであります。その爲に教育をよくやる。私は向ふに居りまして、教育の機關と致しまして或は若い青年達に教育をやるといふことの外に、年寄りに對しましても成人夜學會といふものを十年ばかり前からやつて居るのであります。中々熱心にやつて居るのであります。或は女子供を集めまして勤勞小學園といふものをやりまして、相當の成績を擧げて居ります。今度は坑夫の主婦達を集めて、講演を聴かせただけではいかんで學級を設けま

して、もう十年ばかりになります。母の學園といふものを作りました。之も非常に先生達が興味を持ちまして勉強してくるのであります。恰度一昨々年大牟田に赤痢が流行りました時に、母の學園で教育を受けたお母さん達が子供達にリチーネを飲ませるとか、浣腸をやるとか色々手當をやりましたので死亡率が一番坑夫の子供達が少かつた。豫々健康であるといふこともありませんが、その手當を敏速適切にやりましたので、非常に死亡率が少かつたやうな實例もあります。指導方法がよろしければ何處迄も伸ぶるものと考へられるのであります。さういふやうに或は幼稚園その他色々な機關を作つて教育をやるといふことが必要だと思ひます。教化は事業の根柢であるといふことを私は深く信するのであります。懇談會がよく行きます爲にはどうしても彼等に色々な知識を與へる、よい人を頼んで話をして聽かせる、工場長自ら話をして下さる、さういふやうなことは是非必要であるのであります。

さういふやうに考へますと教育運動あり、厚生運動あり、能率増進とか、何んだ彼だと擧げて行きますと或は運動會をやらう、旅行をしやう。何をやるか、今度は貯金をやらう、一錢貯金をやらうといふやうなことを考へて見ますと仕事は澤山にあるのであります。さうしてその中に一番初めに行ふことは斯ふいふことがよからう、或は一錢貯金と云つたやうなことがよからう、或は旅行をやらうといったやうなことがよからうとか、そこに適切なそれ／＼の方法をお考へ下さるならば、之はもう次から次と湧くやうに出て參りました種は充分にあるものと思ひます。

二十二 大乘的見地に立ち懇談會指導

大體それ位で話を擱きまして、私の方ではさつき申上げたやうに議事録を作つて居るのであります。それをずつと上迄見て載くと云つたやうにして居りますが、此の懇談會を開きました初の頃問題を出しました時に、例へば深川

がこの問題を出したといふやうに議事録に其の氏名を記載致して居りました。此の爲に問題を俺も一つ出さう、俺も出さうといふことになりましたから、之は止めましてどの問題を誰が出したといふことは發表せんやうに致して居ります。それでこの議事録は所長さん方が、直接この會を司會されない處に於かれては熱心に視て戴く、勞務擔當者なりその係の者を時々呼んで、議事録につき是はどういふのか、さうかといふやうに聽いて頂くことは非常に大切と考へます。

そこでもう一つ申上げ度いと思ひますことは今度私共が産業報國會、それからこの懇談會と云つたやうなこの運用を誤りまして、どうもこの産業報國會といふものは形は出來たけれ共、魂は結局駄目であつた。斯ふなりましたらどうなりますかといふと、之は再び又労働組合が盛んになつて、階級闘争の思想が、階級意識が又深くなるといふやうなことになるのではなからうかと私は心配して居ります。或は若しそいふやうに行かなかつたならば、もつと本當の、或は統制強化といつたやうな方向に向かうかといふことに就ての見透しが出來ませんけれ共、勤く共之を誤りませんれば矢張りこの労働組合と云つたやうなものに依つてやらねば、矢張り駄目だといふことに段々なつて來るのではないかと考へます。それも産業報國會の懇談會といふものの運用が誤りまして、労働者が之は頼みにならない、斯う云つたやうなことをやつて見た所で、我々の會といふものは資本主から左右されるのだ、事業主から左右されるのだ、その部分が多い、我々の主張は通らん、駄目だと、斯ふなつた日には、將來は今申上げたやうに又前の様なことを繰返すといふやうになりはせんかといふことを心配する次第であります。それに就きましては何んと致しても、産業報國會なり懇談會の經營に就ては、この際は日本に於ける所の事業主の方が眞剣に協力を賜りまして、之を一つ守り立て、行くといふ肝要な時期に、今は際會して居ると斯いふ風に考へるのであります。この點に就きましては皆さん

方の衷心からの御協力を願はねば、到底駄目ではないかと考へるのであります。

猶最後に、もう十年程前になりますが、昭和五、六年頃の不景氣の時に、私の經營して居りました只今の産業報國會、私の當時の共愛組合といふものが非常に役に立つてくれまして、あの難場を切り抜けた體験を持つて居りますので、簡単にそれを申上げて見度いと思ふのであります。恰度昭和五、六年になりました、非常な不景氣でありましていくら石炭を出さないやうにして見ましても、今と全然反對でありまして、どしどし坑夫達が仕事に澤山出るのであります。例へば百人居りまして、八十名即ち八十人出る、之は人数が過ぎるのだから、今度は九十人に減さう、今度が出る率が八十%から、九十%に上り、却つて出る数は多くなつて來る。日曜は無論休むし、祭日も休みますし最後に土曜迄休んだけれ共、出る数は減らない、矢張り石炭は出る。實に困り果てまして、到々解雇せねばならぬといふことになつて参りました。

恰度三池の鑛業所といふものは、一萬二千人ばかり居りまして、それが五千四百人迄減員して、最後には宮ノ原坑といふ大きな山を閉山したのでありますが、その時の私の考へてしまはしては、一遍に集めまして、當時の所長さんから、職員も労働者も全部辭めなければならぬのだと、辭めなければならぬ理由を述べて辭めて貰はふといふことを考へて居たのでありますが、皆の者の意見として所長を出さうといふことはいかんといふ。それならばどうするのだと言つたら、一人々々手分けして呼んで言ふのだといふので、そんなことをしては一日かゝつても濟みませんか、それでは私が言ひませう、君ならよからうといふことになりました、私が三回に亘つて解雇を言渡したのであります。その時の如きは矢張り一堂に集めまして、解雇しなければならぬ理由を述べまして、述べる私はもう涙があふれまして、よくはつきりと理由を言ふことが出來ない状況でありました。猶現場の技師長も秋別の辭を述べ

るのに、壇上に泣きくすれるといふやうな有様でありまして、坑夫達も泣きくすれるといふやうな状態でありました。最後に正面の神壇、佛壇を開き、燈明を上げ、皆の幸運を祈つて訣れた。

その時私は解雇者の希望登録簿といふものを作りまして、再び三井の事業が盛んになつて来た時に働き度いといふ人は登録して置いて貰ひ度いといふことを言つて、登録簿といふものを備へて置いたのであります。千二百名許りのその中から三百餘名といふものが名前を書いて居ります。一年半ばかり経ちますと、再び景氣が見直して参りましたので、之を雇はなければならぬといふことになりまして、書面を送り、人を遣し、葉書を出すといふやうなことで、それ等の人に通知をすると皆喜んで歸つて来て、再び働いたといふやうなことがありましたが、解雇するとしても、解雇するといふ氣持が致さんのであります。何十年と手鹽にかけた人を解雇する私共は、正に斷腸の思ひでありまして、言ふに云へない氣持であります。さういふ風な事でも豫て相談會で仲よく諒解して居りますと、困難なる場合もよく處置が出来るといふやうなことも、之も一つの場合であると考えます。

それから段々と又行詰りまして、更に三百人も辭めねばならないが、その時にはもう大抵成績不良の人は辭めてしまひました。それから年の取つた人から辭め、採炭夫は四十三歳迄で辭めてしまつたのであります。その後でありますので、どれも皆成績のよい働き手ばかりであります。その中から又三百人選り出すといふことは、どんなに考へても出来ないであります。そこで今度は方法を變へまして私はそれ等の人と、今の懇談會を開催致しまして、代表者を集めて、さうして席上で又三百名を諸君の中から解雇しなければならぬといふことを、初頭から打開けたのであります。

それ迄は内輪で計劃を樹てまして、いきなり言渡すといふ方法であつたのでありますが、今度は方法を變へまして

皆に其のことを言ふたのであります。さうして出炭の割合が斯ふ、在籍人員が斯ふ、石炭が此位出るが、どうしても之が賣れないからどうしても解雇は已むを得ないといふことを説示したのであります。段々どどういふ風な對策をどるかといふことになりまして、先生達も黙つて居るから私が斯う言つたのであります。「今回のことは誠に氣の毒であるが已むを得ないから、先づ青年の人達を辭めやうか、青年の人達は辭められても歸れる家がある譯でありますから困らんだらうから」といふと、連中達が言ひますには「それでは事業が困りませう、青年の人は後山をやつて居りますから——當時はスコップですくい込むことをやつて居りましたから——さういふことになると仕事に片跛を踏んで困りませう」「それはさうだな、それでは仕方がないから金を蓄へて居て明日辭めても路頭に迷はん貯金のある人を辭めて貰はふ」といふと、「それはあなたの立場が御座いますまい」「どういふ譯か」と聞く。「それはあなたに對して勤儉貯蓄を奨めたではないか、そのあなたの言つた所に従つて、よく働きよく貯めて居る人が現在貯金のある人達です、模範坑夫です、よくあなたのいふ趣旨を奉じて働いた人を解雇したらあなたの立場が御座いますまい」と申します。「まあさう言はるればさうだな、それでは僕も智慧がない、諸君の方に何か智慧があつたら授けてくれ」と斯う申しました。處がその連中が言ふには「もう一遍希望者を募つて下さい」「希望者を募るにいふことはやつた後なんで、諸君の知つて居る通りもうないよ」と言つた所が、「今度は私共も加勢します。もう一遍希望者を募つて下さい」と言つた時に、よく覚えて居りませぬ共、私の脇に居りました渡邊といふ男と思つて居りますが、その先生が言ひますには、私のことを組合長と言つて居りましたから「組合長、あなたのお話をよく聽いて居ると今辭めると一人の人助けになるといふことがよく瞭りました。私は十數年炭坑に働き怪我も一過もしたこともありませぬ貯金も相當出来て居ります。昨年あなたに伊勢参拜に連れて行かれました——私の方では伊勢講といふものを數十年やつて居りまして、毎年一回伊勢に参拜することになつて居ります。——その伊勢講に参加して昨年参拜も終りました。東京に行つて、宮城も拜み、明治神宮も拜み、伊勢大廟も拜み、

桃山御陵にも行くことが出来ました。もう思ひ残すことがありませんから、私を辭めさせて下さい」「君が辭めんでもいいやないか」と言つたら「いや、まあ私は路頭にも迷はんやうに貯金も出来て居ります」といふ。外の者が「あれがあゝ言ひ出したらもう聴きませんから聴相けてやつて下さい」と外の代表者が言ひまして、結局はそれをきつかけにしまして、百九十何人といふ希望者が希望に依りまして集り、その後の百十人を銚衝致しまして、三百人を辭めさせるといふことを無事と云つては語弊がありますが、先づ笑つて扱れることが出来た體験を持つて居ります。

二十三 體験を通じて見た勞務者指導

この時に私は痛切に感じました。實に矢張り斯う云つたやうな組織機關を作つて、之に依つて相互の理解をして置くといふことが、難場の場合であらうと、好景氣の場合であらうと、さういふ場合にそれが役に立つ、普段からやつて置かなければ出来ないことを痛切に感じたのでありますが、私達が事業をやつて行きます場合でも、本當に苦樂を共にするといふ氣持でやるならば、私は産業經營は出来ると思へるのであります。甚だ借越なことを申すやうであります。その氣持が本當にあるかどうか、事業を営まれる本當の責任者に苦樂を共にしやう、苦しい時には共に苦しまふ、又相當に事業がよい時には利益も分たふといふ氣持がありますならば、産業の經營といふものは出来るのではないかと、そんなに行詰らないでよいのではないかと、いふ氣持が致します。

猶もう一つの例を申し上げます、斯ういふことが御座います。之を私が方々で申しますと、何か非常に得意にそれをいふと思はれ勝ちでありますけれども、實際私は今以てそのことだけは忘れることが出来ませんが、恰度大正十三年に私の居りました三池に大争議が起きました。主に工場側から問題が起つたことでありまして、當時私は採炭夫六千

五百人を受持つて居りましたが、此の採炭夫達は此の争議には加擔してくれなかつたのであります。おまけに争議をした人の仕事迄してくれましたので、通常は五千噸出て居りました石炭が、争議が五十日許り續きましたが、最後迄二千五百噸乃至三千噸位出た譯でありまして、もう私は當時は毎日感謝感激して居つたのであります。偶々四十日位になつてからの事でありましたが、確か採炭夫の中に四十名程のストライキ加盟者が出て来たのであります。

之は眞に己むを得ない次第でありまして、工場と鑛山とごつちやになつて居ますから、兄は工場に行き、親爺は炭坑に行き、弟はごつちに行くといふやうに家族中が分れて居りまして、歸つて来て飯を食ふやうになると、ストライキの話も聞くといふやうなことに依りまして、自然さう云つたものが同情して、約四十人程の者が籠城を始めてストライキに加擔し、事務所に籠城して行商を初めたのであります。大體争議の見透しがつく頃になつてから争議に加盟する、之は馬鹿なことをしてくれと思つて居りましたが、仕方がない、二三日見て居りますと、十人二十人と殖えて來まして七十人位の人數になつた時に、之はいけないと考へて、之は斷乎として制裁を加へなければならん、此の儘放つて置いてはいけないと考へましたので、私は腹を決めまして、先づこの事を之等の女房諸君に通知をして置かなければならぬと考へました。

之は豫々集會その他をやりまして、おかみさん達と仲良くなつて居りますので、おかみさん達に言はねばいけません。之は皆さんの御主人達がストライキに加盟されて、向ふに籠つて居られる、それで段々と話を進めて歸つて來られるやうに言ふて見なければ、皆聴かれない、之を放つて置いては段々人數が殖えて困るのだ、それで今夜の中に皆さんが連れて歸つて來られるならば——丁度午後であります——今夜の中に連れて歸つて來られるならば、私は一切それ等の罪は問はない、全然處分はしない、併

し乍ら今夜の中に歸つて来ないならば、皆を自分は解雇する。それを皆さんに言ふといふことは豫て皆さんと親しくして居るから、それを言ふて置かなければ、深川さんが前以て私達に話して下さるならば私達の力で何とか出来たものを、前以て言ふて下さらなかつたと皆さんに不平を言はれては私もたまらないから皆さんにも豫めお知らせする次第だ、皆さんもどうか骨折つて欲しいといふことを申したのであります。

それから後は確かに私が智慧を授けた譯ではありませんが、その晩に連中が集り協議を致しまして、さうして皆赤坊を抱いて、そのストライキで籠つて居る所の事務所の處に行きまして、その椽の處に自分達の抱いて行つた赤坊を置いて、ばつと歸つてしまつたのであります。争議の連中は籠つて居つたが、赤坊が椽に並んでワアツと泣き出したものでありますから――籠つて居る者に赤坊の聲程毒はないのであります、出て見ると自分達の子供が居るものですから、已むを得ず連れて歸らうと、先生達も仕方なく赤坊を抱いて家へ歸つて来ますと、待ち構へて居つたおかみ達もばつと飛ついて、子供迄も手足に抱きつかせまして、爺さん婆さんも抱きつくといつたやうな譯でありまして、もう出て行くことが出来なくなつた。午前三時頃行つて見たらもう空っぽになつて、たつた一晚の中に居なくなつたのであります。私も其の時には感じたのであります、後で其の時の團長は世話方に取立てた氣の利いた男でしたが、大體争議の團長などは指導がよろしければ、我々の會社の事業に貢献し得る有力な人が多いのであります。その男が「深川さん、あなたは豫て修養とか何とか云ひなされるけれど、あの時は辛辣な方法を採られましたね」と、あれをおかみさんと私が協議して考へ出したものと思つて居つたらしいのであります。最近山口縣下の彦島に参りました時に、私の元と同僚で一所に争議の時に働いた横地といふ人が居りましたが、あの時は誰が授けたのかと思つて居つたら、矢張り此の横地といふ人と四宮といふ人が居り、そんなことを考へてヒントを與へたといふて居りました。それを與へら

れたにしても、それを強硬に實行してくれましたおかみさん達に對しては非常に感謝にむせびまして、女といふものは力が強い、理解させて事業の上にも充分之等の人と力を協せるやうにしなければならぬといふことを痛切に考へたのであります。

それから後のことではありますが、彦島に一寸した工場がありまして、其處に争議が起きました。この時の如きはおかみさん達が襦、鉢巻、さうして握飯を握つて「やれ／＼」と督促して居ります。さうして劇場に行つて見るとプロカーがすつと立つて演説をやつて居る。それに拍手喝采をやるのはおかみさん達であります。又ストライキに加盟しない者に對して、「何だ意久地なし、貴様さん玉があるか」と罵詈雑言を加へるのもおかみさん達であります。丁度所長の奥さんが病氣で寝て居ると、そこに押寄せまして、塀から這ひ登り、「くたばりやがれ、おまへの主人が賃金をくれないから、おまへは罰で病氣になるのだ、早うくたばれ、死ぬ」と罵詈雑言をするのであります。眞にその状態を見まして、凄惨な氣持になりました。私共が行つて追ひ拂つたのであります、考へますのに斯ういふやうに違ふが、之は實に我々が仕事をして行く上に就て、その勞働者本人だけではいけない、おかみさん達に充分理解を持たせて置かなければ矢張り斯ういふ事になる。よし一人の従業員が叱られて家に歸る、ぶん／＼して居る所におかみさんが捉へて煽てる。さうすると翌日は工場に出て職員等に突掛かつて来る。反對になだめれば納まる。之は實に大きなものであるといふ事を考へまして、之は女子の教育といふ事も徹底的にやらなければならぬと、斯ういふ事を考へたのであります。

二十四 結 語

また色々の事例を體驗致して居りますけれども、苦しい處を申上げまして、さうして私共が今後の事業を經營するに

就きまして、この多くの働く人といふものは同じ同胞であり、本當に私共の尊い血を分けた同じ民族であるといふことを深く考へ、之等の人々の上に深い同情の氣持を以て仕事の經營をして行く、さうして私共は忠誠一途の氣持を以て我々の事業經營の上に採り入れて行かなければならない。或は五ヶ條の御誓文といふことも我々の産業といふものに就きまして考へて見ればよく當てはまるのではないか、即ち産業經營の凡ての點に就ては皆の氣持を聽いて力を入れて行く、或は上下力を協せて經營を行ふべし、或は舊來の陋習を破つて、或は世界に知識を求めて、我々の仕事を進めて行くと仰せられたやうなことが、私共の産業を經營する者の根本の指導精神であるを考へるのであります。

猶又數々の御勅語の中にも、或は億兆一心と仰せられ、或は上下心を協せてと仰せられて、如何に私共に力を協せて行くやうに、協力道に依つて行くやうにと深い御指導を賜つて居ると思ふのであります。私共がいつも、詔書を奉讀する、或は拜聽する時に、本當に心から之をなして居るのであるかどうかと、斯ういふことを考へます時に、非常に考へて行かなければならないのではないか。又私共を常に親らお率ひ下さる 聖上陛下の御事共を伺ひ奉りましたも、我々産業の經營に當つて居ります者が、此際本當に心を充分に領めまして、我々日本國民の本當の精神、日本精神の精髓といふものは、さういふやうに億兆一心となつてやる處にあるといふことを矢張り考へまして、再び之が階級闘争の紊れたる氣持にならないやうに今度の機關に依りて、私共の産業がすん／＼榮えて伸びて行き、事業も備り労働者も福利を充分に分けて戴くといふことが出来るやうに、經營に當つて戴き度いといふことを、切に御願ひ申上げる次第で御座います。

長く御清聽を煩はしまして有難ふ御座いました。之を以て私のお話を終ります。

〔終〕

【附】 懇談會運用に就て (質疑應答)

問 大正十年頃委員會制度をやつたことが御座いました。が、此の時斯う思ひまして委員の半數は選出、半數は指名、その譯は若し全部選出にすると、この幹部の銜衡がもめることがある。その時に幹部としての威嚴がなくなるから、それで職工を指導するに具合が悪くなるはしないかと思ひまして、兎に角半數だけは幹部の中から選任を致して、後半數を指名にする、斯ういふことではいけませんでせうか、その方がいいぢやないかと思ひます。

答 御尤なお尋ねを考へますが、結局先に申上げましたやうに其處の工場なり、鑛山の歴史その他事情が違ひますから一概には申上げられないのであります。私の方は今鑛山の本社と致しまして丁度七萬人位居ります。關係會社が約三萬人ばかり居ります。その所に約何十といふ相談會を、事業所別に懇談會を作つて居りますが、最近關係會社に作りまして方に於きましても

實は最初一回位指名といふことに致しまして、後は全部選舉と致して居ります。實際はさう問題が心配するやうなことが起らないでやれますので御座います。が、初めは私の方でも、指名といふことを相當やりました。御座います。色々やつて行きます間に、結局選舉の方が一番よいといふことに私の會社ではなりまして、それで今では徹底的に普通選舉でやつて居ります。お話のやうなことが矢張りあります。さういふやうに指名でやつて戴いても、又折衷説でやつて頂いても、之はそれ／＼の事情に依つて決められて然るべきと思ひます。

私の體験では半數半數に割るよりも、矢張り選舉した方がよいといふことは、さういふことをやりました時に、指名派と選舉派と二つに段々較れて來ます。非常に具合が悪い。意見が較れる時に、指名した連中と選舉した者と、意見が較れるやうになりますので、之

は止めまして選挙でやつて居ります。

問 寄宿舎を持つて居らない工場に於ける家庭との連絡に就て適當な方法が御座いましたら、どうぞ――

答 それは御座います。御座いますが、非常に手がかかります。私共の方でも實は鑛山で家が渺ふ御座います。部落から通勤して居る。相當遠距離の所は七、八里の處から通勤して居ります。それは全部、部落に於きまして區域を決めまして、家族會といふものをやりまして、部落別に働く人と家族も一緒に集めまして、餘り大きい所でないご月に一回位集めます。大きい所はさうは行きませんが、會議を開きまして、會社の事務に關すること、部落の家族會に關すること、事業の經營に關することを協議致しまして、其處に働きます従業員との意思疏通を圖る爲、部落家族會といふものを私の方ではやつて居ります。之を徹底的にやつて居る所は相當に成績が擧ります。之は併し相當骨が折れます。併し私は東京附近では特に必要と思ひます。私の考へでは東京附近でおやりになる時は、この會

をやらせます世話係などはお醫者さん等も使つて戴くといふことはどうかと思ひます。それは特殊の場合であります。それは訪問をして参ります時にお醫者さんを使ひます場合、病人でもありますと診てやつて、診断書も書いてやるといふことも出来ますから、訪問係を設けて、家庭を訪問さすといふことも、一つの方法であります。その時はお醫者さんなどを使ふことが出来る場所ならば非常によいと思ひます。さうしてその中に部落毎に、一つの地方毎に會を作らせるといふことがいいぢやないかと思ふ。

それから特に青年職工といふやうなものに就て若しおやりになる場合には、私のやりましたのは其の青年は工場で假に集めると致しまして、父とか母とか、特に父の會、母の會と別に集めて居りました。お父さんに對してはお父さんに對することを頼みます。母親に對しては、若い人達が歸つて来た時に食べさせるものやら、小使のことやら、何か知ら青年職工たちに心配が起つた時は、早く事務所に云ふて來てくれて、お互に

是正にかゝらうぢやないかと思つて居るのであります。あゝいふ青年労働者から養はれて居るものは青年を抑へる力が弱いのであります。何故かといふと子供から養はれて居るから矢張り力が弱い。それで私はその青年達に危険思想の者が來まして宣傳するといふ場合に、部落毎に親爺の會を作らせまして、それ等の人が一人では自分の子を抑へ切れないから、皆力を協せて是正する。或は早く勞務係の方へ言つて來てくれといふことをやらせて居ります。私共は未青年者の父の會母の會といふものは相當効果のあるものと思ひます。

よくこの氣持を云ふ。「私共もあなた方の大切な子供を預つて居るのです。間違ひないやうに眞人間になるやうに考へて居る。働いたから賃金を拂ふ、それでよいといふのではない。一生懸命にやる氣持であるが、手が届かないからさういふ時は言ふてくれ」と相談し、まあ學校のあれと同じであります。さういふことをやつて戴くことが必要であります。この都會に於きましてはその家庭を訪問なさる機關を皆持つて居らつしやると思ひますが、さう

いふ點に工夫をして戴くといふことが特に必要ではないかと思ひます。唯階級闘争の意識にとらはれて居ります者は、何をしに來たか、何しに來たんだらう、探りに來たんだらうと取りますが、それが氣持が融和して來ますと矢張り見舞に來てくれた、親切がするのだといふ風に取つて來ますけれ共、何でもやること、なすこと、相互の思想的背景が、融和が出来て居るか出來て居ないかといふことで取りやうが違ふたらうと思ひます。

私の體驗致しましたやり方は家族會といふものをやりましたが、従業員も労働者も地方別に分けまして集會をやる。その地方に行つて集會をやる。活動寫眞などを持つて行つて其處でやりまして、世話一切は従業員にやらせます。懇談會の役員などが居りますれば、それに場所を決めたり、人を集めたりすることもやつて貰ひます。主に現場の者と勞務の者と兩方行つてその他の相談をすることになつて居る。よくそれ等の人が工場を見せてくれと言ひますから大抵地方別にして

工場を參觀させる。お父さん、女房を連れて、おまへ達の子供や主人は、斯ういふ處で斯ういふことをやつて居るといふことを、一年一回位宛見せて居ります。さういふやうなことをやつて居ります。

問 工場を見せる場合、働いて居る所を見せたがよいでせうか、休んで居る所を見せたがよいでせうか。

答 それは工場の模様によつて色々違ひます。危険な所

もあるし、秘密な所もあるでせうが、色々適切にやつてよいと思ひます。私共は働く場合を見せまして、斯ういふやうにして働いて居るから皆相當に色々な場合に注意しなければならん。仕事着などにもよく注意をして下さいといふことを頼みましてやりました例が御座います。矢張り時間が長くなりまますから休んだ時だけでは足りません。

産業報國會懇談會の運用 (終)

昭和十五年十月五日印刷
昭和十五年十月十日發行

定價 十 錢(送料三錢)

不 許
複 製

編輯兼 發行所 東京市麹町區霞ヶ關一ノ二 警視廳調停課内 榮 義 信
印刷人 東京市神田區西神田一ノ九 大 島 秀 一
印刷所 東京市神田區西神田一ノ九 太陽印刷株式會社

發行所

東京市麹町區霞ヶ關一ノ二(警視廳内)
東京地方 産業報國聯合會

電話・銀座 (57) 五五二一(一〇〇)
振替口座・東京 一六七、八七一

406
46

終